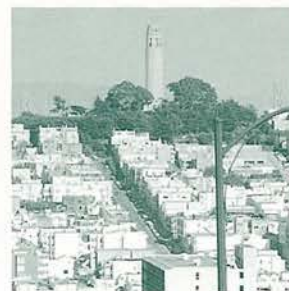
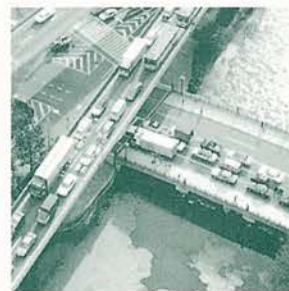
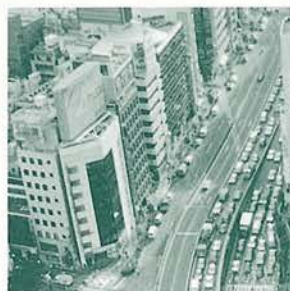
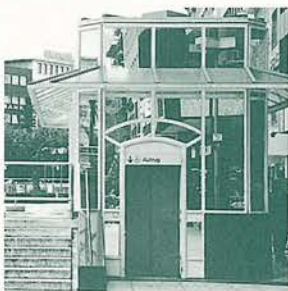
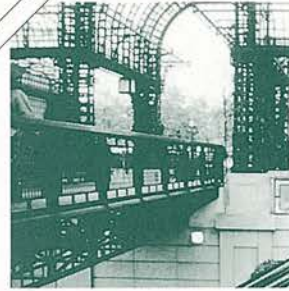


# '93都市環境デザインモニターメッセ



都市環境デザイン会議

# 「都市環境デザイン モニターメッセ」 開催概要

1993年

## 都市環境デザイン

## モニターメッセ

### 開催にあたって

「都市環境デザイン会議」は、都市の環境をより良いものとするために、分野の違いを越えて積極的にこれに関与して行きたいと考える人たちの集まりです。土木・建築・造園・デザイン・照明など多岐にわたる分野・学会・行政・コンサルタント・設計事務所など多くの立場の人々の参加を得て、全国の活動組織として定着しつつあることは、ひとえに皆様方のご理解、ご支援、ご努力によるものと深く感謝を申し上げる次第です。

「都市環境デザイン会議」では、都市環境デザインに深い関心のある人々のネットワークの構築、都市環境デザインの高度化、情報交換などについての活動を活発に行なっています。昨年度開催いたしました「都市環境デザインモニター・プレメッセ」では、都市環境デザインに関する社会的な情報発信の場として、参加されたモニター諸氏ならびに出展企業の皆様から高い評価をいただきました。

本年度も、会議のメンバーらが自ら社会的、専門的なモニターとなり、都市環境の開発、素材の供給、技術の開発などに関与される産業界の方々のご協力を得て、双方向型の情報交換の場「都市環境デザインモニターメッセ」を開催いたします。需要側の声、供給側の事情の情報交換を活発に行なう機会として、本メッセが良好な都市環境の形成に役立つことを願ってやみません。

より豊かな都市の時代に向けての、本活動の主旨にご理解をいただき、積極的なご支援ご協力をお願いする次第です。

都市環境デザイン会議

### ■開催の主旨

都市環境の形成にかかわる発注者、計画者、設計者、デザイナーらがモニター席に並び、これに対し都市環境の開発事例、素材開発、技術開発などについて企業側にプレゼンテーションをしていただきます。

その後、持ち時間に従って意見交換を行ないます。とりあえず、試行錯誤のための小規模なメッセから発足したいと考えますが、発展の要件を探りつつ、ゆくゆくは広範かつ大規模なもの、また一般の方々の参加を求めるものなどへの拡大をはかってゆくことをめざします。

### ■開催概要

名 称：'93都市環境デザインモニターメッセ

会 場：東京・品川天王洲アイル地区宇部興産ビル  
UBEホール  
東京都品川区東品川2-3-11

開催日時：1993年7月23日（金）

13：30～18：00（モニターメッセ）

18：00～20：00（懇親会）

主 催：都市環境デザイン会議

〒150 東京都渋谷区広尾1-10-4

TEL.03-3420-5995

運 営：都市環境デザインメッセ運営事務局

（感覚都市研究所内）

TEL.03-3444-6680 FAX.03-3444-6878

モニター：都市環境デザイン会議メンバー（関係省庁・自治体

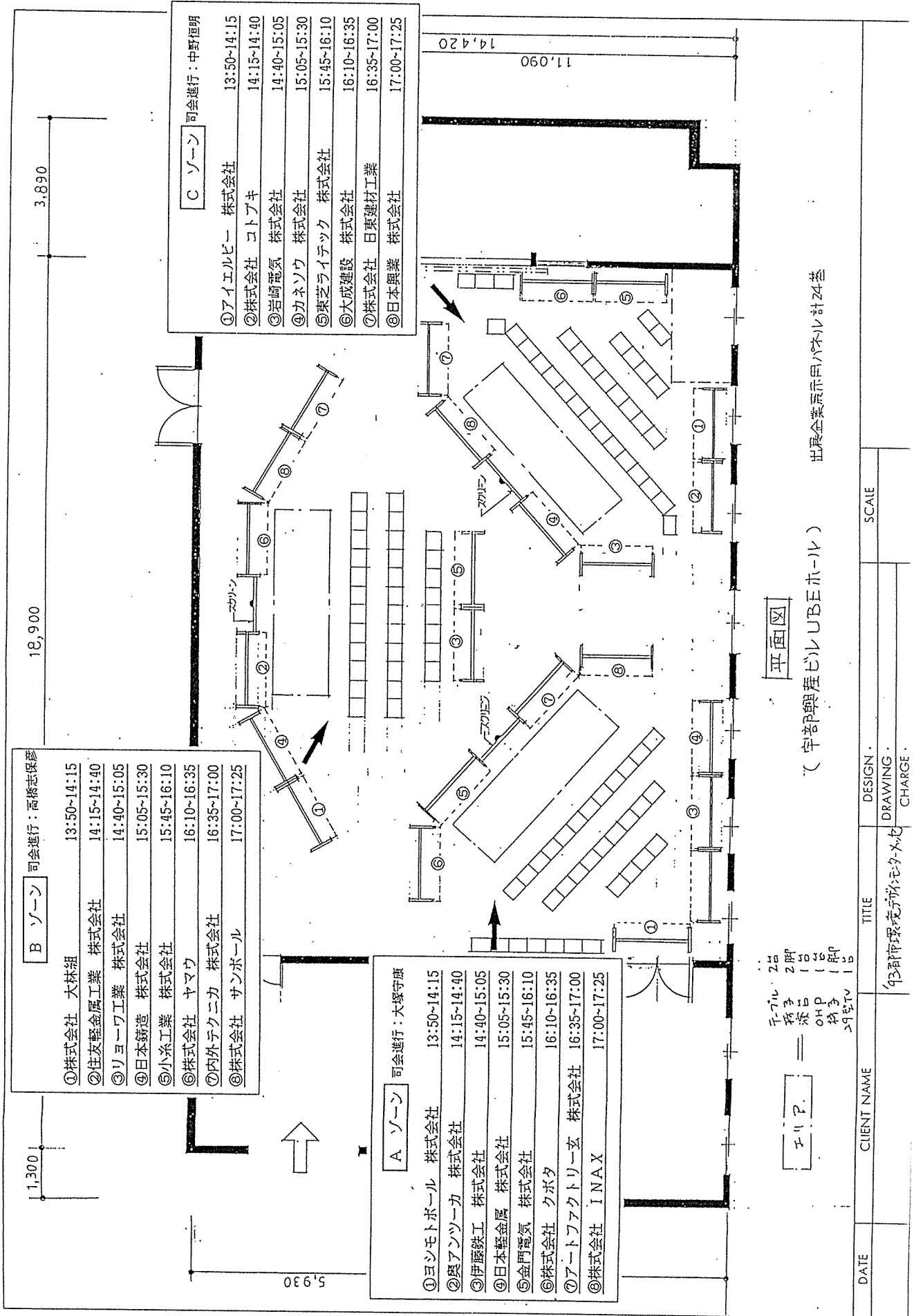
大学教授・建設系（都市計画・木土造園）コンサルタント・建築設計事務所・各種デザイナー・ゼネコン・

造園業・資材メーカー等）

出展予定業種：ゼネコン、景観材料メーカー、ディベロッパー等

Aゾーン	Bゾーン	Cゾーン	プレゼン時間
ヨシモトポール株式会社	株式会社大林組	アイエルビー株式会社	13:50~14:15
奥アソツーカー株式会社	住友軽金属工業株式会社	株式会社コトブキ	14:15~14:40
伊藤鉄工株式会社	リョーワ工業株式会社	岩崎電気株式会社	14:40~15:05
日本軽金属株式会社	日本鑄造株式会社	カネソウ株式会社	15:05~15:30
休 憩			
15:30~15:45			
金門電気株式会社	小糸工業株式会社	東芝ライテック株式会社	15:45~16:10
株式会社クボタ	株式会社ヤマウ	大成建設株式会社	16:10~16:35
アートファクトリー株式会社	内外テクニカ株式会社	株式会社日東建材工業	16:35~17:00
株式会社INAX	株式会社サンポール	日本興業株式会社	17:00~17:25
司会者 大塚守康	司会者 高橋志保彦	司会者 中野恒明	

■会場レイアウト



Bゾーン		司会進行：高橋志保	
①株式会社 大林組	13:50~14:15		
②住友軽金属工業 株式会社	14:15~14:40		
③リョウ工業 株式会社	14:40~15:05		
④日本鋳造 株式会社	15:05~15:30		
⑤小糸工業 株式会社	15:45~16:10		
⑥株式会社 ヤマウ	16:10~16:35		
⑦内外テクニカ 株式会社	16:35~17:00		
⑧株式会社 サンホール	17:00~17:25		

Aゾーン		司会進行：大塚守康	
①ヨシモトホール 株式会社	13:50~14:15		
②興アツカー 株式会社	14:15~14:40		
③伊藤鉄工 株式会社	14:40~15:05		
④日本軽金属 株式会社	15:05~15:30		
⑤金門電気 株式会社	15:45~16:10		
⑥株式会社 クボタ	16:10~16:35		
⑦オートフアクトリー 株式会社	16:35~17:00		
⑧株式会社 INAX	17:00~17:25		

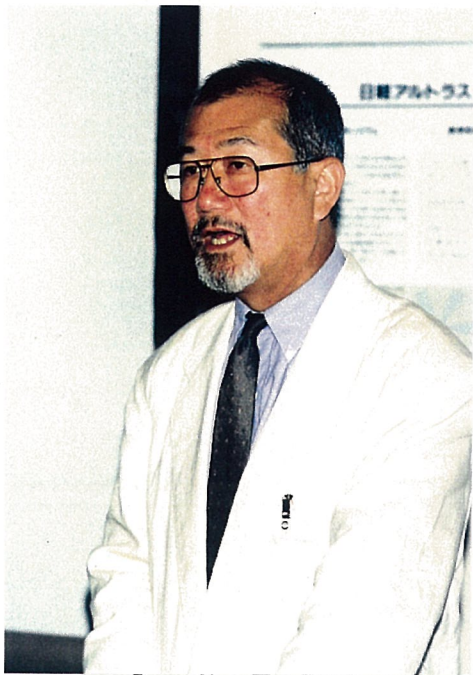
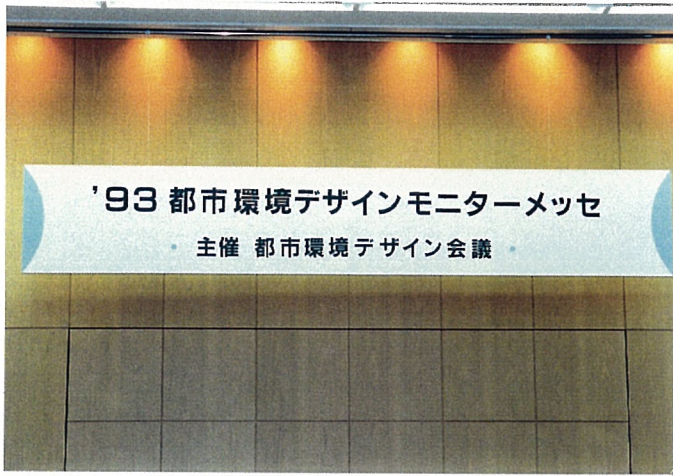
Cゾーン		司会進行：中野恒明	
①アイエルピー 株式会社	13:50~14:15		
②株式会社 コトアキ	14:15~14:40		
③岩崎電気 株式会社	14:40~15:05		
④カネソウ 株式会社	15:05~15:30		
⑤東芝ライテック 株式会社	15:45~16:10		
⑥大成建設 株式会社	16:10~16:35		
⑦株式会社 日東建材工業	16:35~17:00		
⑧日本興業 株式会社	17:00~17:25		

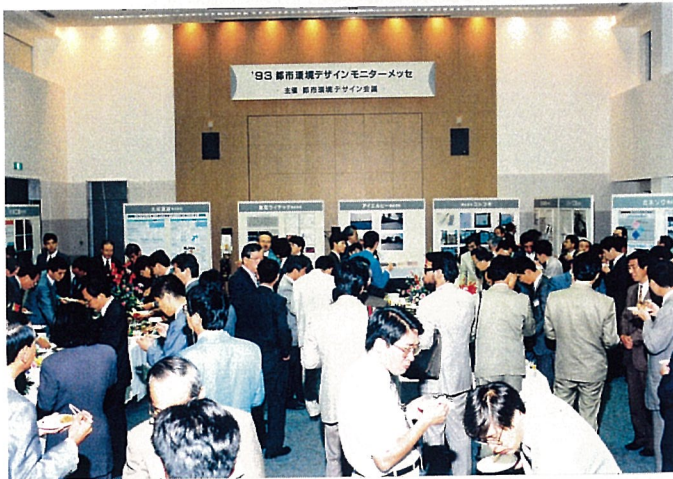
エリ P. =  
 エリ F. =  
 2台  
 2脚  
 1台  
 1台  
 1脚  
 1脚  
 1脚

■平面図

( 宇都宮興産ビルUBEホール ) 出展企業表示用パネル計24巻

DATE	CLIENT NAME	TITLE	DESIGN · DRAWING · CHARGE	SCALE
		93都庁環境庁前ビル		





出展企業名	奥アンツーカ株式会社
-------	------------

住 所	〒541 大阪市中央区博労町4丁目5番3号
電 話	06-252-3333
来場出席者名	勝川信俊、管家基夫

## ● 評価ポイント

1. 焼却や堆積などのゴミ処理と同じイメージで捉えられてしまうと、都市部でのリサイクル施設の設置は敬遠されがちであるが、ゴミ処理場とリサイクル場は違うという事を地域レベルにどうPRしたらいいか。
2. 各自治体で処理したものを、現在は自家消費という形を提案しているが、将来、流通ルートに乗せて処理したものを商品化出来ないだろうか。
3. 発酵機が箱型でシンプルなので、もっとPR効果のある都市環境にマッチした概観にするにはデザイン等の工夫が必要だと思うが具体的なデザインとなると難しい。
4. 生ゴミ処理を考えた時、機械に投入可能なゴミの選別が市民1人1人によって行えるかどうか。(少量の異物の混入ではトラブルは考えられないが、多量の異物金属等の混入はトラブルの原因)
5. イメージの問題としてよその台所から出た生ゴミを処理したものを使うという事が気持ち悪いというような事でトラブルが発生しないか。→「発酵」を理解してもらうにはどうしたらいいか。

## ● プレゼンテーション要旨

都市空間における生活環境の快適性の要求から都市緑化推進事業は急伸してきました。しかしながらそれに伴い、都市景観や美観を維持するための管理によって、大量の剪定枝や落葉等の廃棄物が発生することになります。今までは焼却を中心に処理されてきましたが焼却時に発生する炭酸ガスによって大気汚染の問題を抱えることになり、さらに処理費用も多大に要し行政も対策迫られる結果となっています。このようなことから緑の廃棄物の有効利用を目的とした「緑のリサイクルシステム」の必要性が大きくクローズアップされています。当バイオコンポシステムはそれらのいきさつを考慮し、公害問題解決を第一とし、処理経費の低減化を保ち、処理生成されたものの有効利用を目的として開発されました。微生物発酵システムであるこの機械の特徴としては、1. 独自の発酵プロセスにより、処理時間が大幅に短縮される。剪定枝の場合24時間発酵後2ヶ月の養生期間を経て完熟堆肥として土に還元出来る。2. 処理は槽内で行う為悪臭や汚水漏出の心配がない。3. 自動化により省エネ省力化が計れる。4. 特殊な発酵菌、効果的な発酵助材の組合せにより理想的な完熟肥料が得られる。等が挙げられます。化学肥料によって酸性化され弱った土壌に施肥してやることによって土本来の力をとりもどし、都市に生々とした緑を提供することが出来るリサイクルシステムです。

## ＝ モニターの声 ＝

- システムについては共感をおぼえ、よく広く利用されることを望む。
- 自治体、企業ばかりではなく、集合住宅、各家庭等個々の生活の中でも利用できるとよい。
- どのように活用していくかまで考えてもらいたい。
- 環境問題への対応策の一つとして有効な手段と思う。よりコンパクト化、コストダウンを期待する。

# プレゼンテーション・懇親会





出展企業名	ヨシモトポール株式会社
-------	-------------

住所	〒100 千代田区有楽町1-10-1
電話	03-3214-1552
来場出席者名	三石 傑、止原成郎、鈴木幸雄、飯島秀雄

## ● 評価ポイント

### 1. ストリートファニチャー表面処理の耐候性について

ポールを含めストリートファニチャー類に使用される鋼材の耐候性を当社は、15～20年程度は必要と考え、高グレードの表面処理を行ってきました。当社のオリジナルのステンコート {アクリルシリコン塗料+ステンレスフレイク入(SUS316L)} も、高グレードの表面処理として、開発致しましたが、“耐候性(製品の景観上での寿命)をどれくらい必要と考えられていますか?”

### 2. コンクリートの素材そのものの評価について

コンクリートポールは電柱に代表される様に今迄、景観材料としては、嫌われている感があります。しかし、遠心力プレストレス製法によるコンクリートは①クラックが入りにくい、②コンクリート密度が高い(表面がち密)等の特徴があり、他の素材と比較した場合、耐候性、経済性、質感等にすぐれた特長を持っていると考えております。この特質を活かした製品づくりを今後も進めて行く計画ですが、“コンクリート素材そのものの評価如何とお考えでしょうか”

## ● プレゼンテーション要旨

会社概要 昭和36年通信用コンクリートポールメーカーとして設立。“ポールの総合メーカー”としていろいろなポール(柱)のニーズに対応。現在は、「美しくにづくりに良い品を」をモットーに、景観に関連するポールづくりにウェイ。’88グッドデザイン大賞(公共空間部門)、’90グッドデザイン景観賞 受賞。

景観への取り組みの基本姿勢、(1)メーカーに徹したものづくり (2)製品保証、設計保証の出来るものづくり。公共物として要求される安全を重視した設計思想。(3)素材メーカーとの協調。複合材料を使ったものづくりには素材メーカーとの協調が不可欠。

当社の特徴、(1)表面処理技術・樹脂コーティング・下地亜鉛メッキ後樹脂コーティング・下地亜鉛メッキ後塗装 (2)大型構造物加工技術 (3)コンクリート加工技術

納入実績：・皇居周辺景観整備事業、車道照明柱、歩道照明柱、防護柵等

・みなとみらい21、標識柱・門司港レトロ事業、レトロポール、モニュメント柱

・羽田新空港、大型標識柱

## モニターの声

○近年、全国的にデザイン、景観等が話題となってきているが、特注品等となる場合が多くコストの問題で使用できないケースが目立ってきている。メーカーとしてはいかにしてローコスト化が図れるか検討してほしい。

○デザインは主張するばかりでなく目立たないためのデザインが必要な場合もある。特にデザイン、構造のシンプル化についての検討も期待する。

# プレゼンテーション・懇親会



出展企業名	日本軽金属株式会社
-------	-----------

住 所	〒130 墨田区両国3-21-1 グレイスビル両国5F
電 話	03-5600-1944
来賓出席者名	宮澤由幸、北村 実

### ● 評価ポイント

1. ビデオの感想は、どうでしたか。
2. プレゼンの中でどこに興味を持たれましたか。
3. パブリックスペースへのアルトラスの活用は、いかがでしたか。
4. パブリックスペースへのアルトラスの他用途への展開はありますか。

### ● プレゼンテーションの要旨

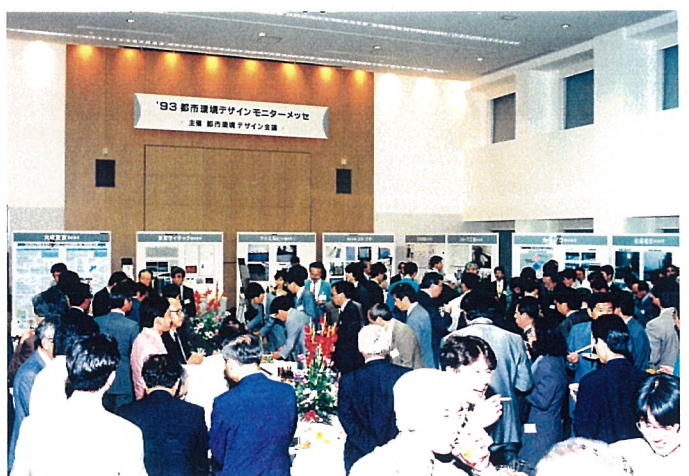
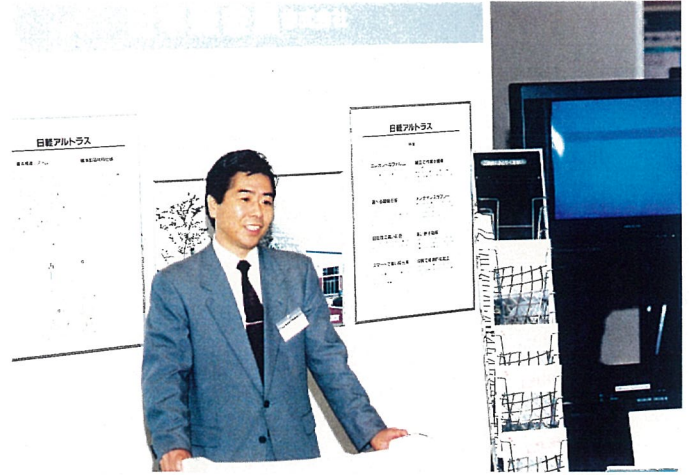
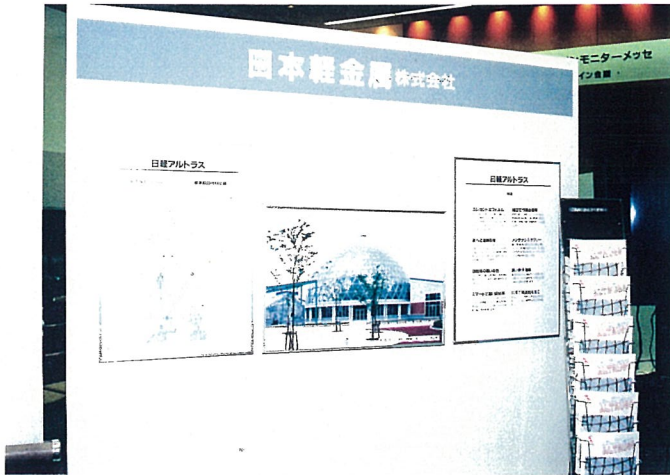
アルミニウムを中核として、グローバルな発展を続ける日本軽金属では、これまで経済性、強度を優先して素材選定をしてきた建築構造材分野に着目。そして、広く海外で実績のあるシステムを研究しながら日本で初めてのアルミパイプ製立体トラスを開発しました。このシステムは、力学的に安定性のある三角形のフレームが基本ユニット、そして、アルミの素材特性を追求しながら考案されたジョイント構造に特徴があります。接合部は、ハブと称する円筒形の内部に凹凸をつけたスロットと称する切込みを設けてある部分が、各々のチューブと称する弦材をジョイントする格点になります。チューブは、その両端をプレス加工で押し潰して扇状にし、さらにその先端にディンプルと称する凹凸をつける成形を行い、その部分を格点であるハブのスロット部に専用の油圧工具を用いて挿入することによって接合する方式です。

これまで、日本軽金属は、道路、橋梁、駅前再開発といったパブリックスペースの分野において、デザイン、設計、生産、施工と一貫し30年近く実績を残し発展してきました。今回、あらたにこのパブリックエクステリアの分野にアルミトラスの接合の特長を生かした都市景観製品を数案プレゼンテーションできればと思っています。

### ＝ モニターの声 ＝

- 屋根の構造体に限らず、幅広く利用できるシステムとしてほしい。
- 新材寸法にもバリエーションをもたせ、土木構造体としての（歩道橋等）利用をしたい。
- 色についても検討してほしい。
- 屋根（ドーム）形成材として効果的なものですが、特徴がはっきりしているのでこればかりになると風景が？

# プレゼンテーション・懇親会



出展企業名	伊藤鉄工株式会社
-------	----------

住 所	〒332 川口市川口6-3-14
電 話	048-258-3332
来場出席者名	篠崎謙一、浅山茂樹

### ● 評価ポイント

1. 鋳物の製作工程は御存知でしたか。
2. 鋳物は割れ易いと認識されてましたか。
3. 鋳物職人の高齢化が問題になってますが、今後の鋳物工場の有り方について、どう思われますか。
4. メーカーにデザイン部門をもつのは必要だと思われますか。
5. デザイナーとの取組方はどのようにすればよいと思われますか。
6. 景観に対する鋳物の位置づけはどのようにお考えですか。
7. 鍛鉄を御使用されたことはございますか。
8. プレゼンテーション及びパネルはいかがでしたか。
9. 当社に望まれるものは何かございますか。

### ● プレゼンテーション要旨

<ビデオ：5分間> 鋳物の製作方法（自動造型機、手込作業）、及び当社製品の紹介。

当社は川口市に位置し、長年培った技術と地の利を生かした生産体制を有しデザインから製造まで、一貫した管理で運営されています。

ビデオの通り、鋳造部の厳格な品質管理体制に基づき生産された鋳物は、非鉄金属は勿論のこと一般的に割れ易いと思われてきたねずみ鋳鉄（FC）、そして近年開発されたダクタイル鋳鉄（FCD）の出現により今まさに景観材料の分野が広がりました。鋳物の良さである複雑な形状、大量生産、曲げ加工、また四酸化鉄（ $F_{e_3}O_4$ ）の生成等によるエージング効果でメンテナンスフリーの実現をも可能にする事が出来ます。

照明ポール等3M位が通常の工場生産の基準ですが、当社では、5M位の長尺物も特殊な方法で均一な肉厚をもった製品として製造が可能です。

別の使用例としてパネルの暖炉にみる様、古いものからの復元（木型を作らず）も出来ます。

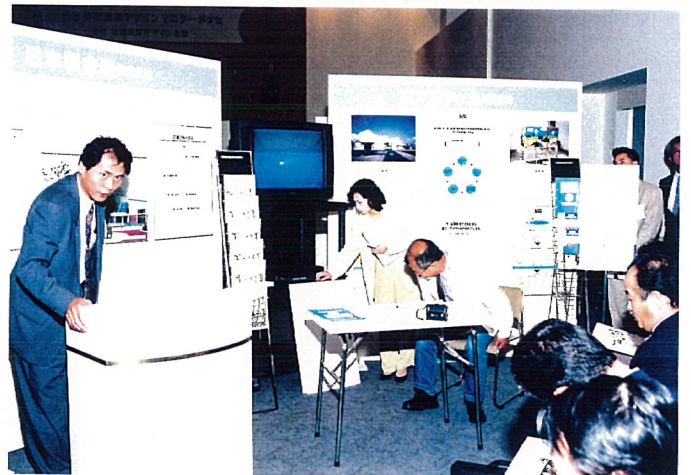
コンサルの皆様が景観をプランニングするに当たり、是非、私共に声をおかけ下さい。金属が主でありますが総合メーカーとして各種製品のプレゼントが可能です。また、最後になります、技術や芸術を専門分野とし、鍛鉄による門扉、面格子、その他種々の景観製品をあわせ世に送り出しておりますことを附加させていただきます。

### モニターの声

○コンピュータによる自動化をしてコストダウン（いつでも同じ木型で再生できる）してほしい。数量が少ない場合、木型のコストが大きい。

○人孔化粧蓋の厚を厚くしてほしい。80mm厚のインターロッキングブロックを入れられるようせめて100mm位ほしい。

# プレゼンテーション・懇親会



出展企業名	株式会社クボタ
-------	---------

住所	〒103 中央区日本橋室町3-1-3
電話	03-3245-3441
パネ出席者名	岡田幸男、深堀賢久、宮内 直、加藤 孝

### ● 評価ポイント

1. 東京、大阪等の大都市部には現在十分な水施設があるとお考えですか  
 ①多すぎる ②多い ③ちょうどよい ④少ない ⑤ 全くない  
 注) 水施設とは川、池、噴水、滝、等の内、人工的なものをさします (以下同様)
2. 大都市部には、どの程度の水施設が必要でしょうか  
 ①今より少なくない ②今と同程度 ③今の1.5倍 ④今の2倍 ⑤今の3倍以上
3. 現在の水施設のあり方に満足されていますか  
 ①満足している ②何とか満足出来る ③満足していない (理由 )
4. 今後、水施設に求められる役割はどのようなものとお考えですか  
 ①精神面のやすらぎを与えるもの ②親水性 ③環境調整 ④緑化促進 ⑤その他
5. 今後、環境とのかかわりで水施設に求められる機能はどのようなものでしょうか  
 ①水質浄化 ②温暖化防止 ③ヒートアイランド抑制 ④空気浄化 ⑤緑化促進
6. 我々が発表しようとする観点から水施設を計画された事がありますか  
 ①全くない ②ある (1~2件) ③ある (3件以上) ④聞いたことがある
7. 現在都市部にある水施設の周辺ですずしさを感じたことがありますか  
 ①全くない ②少しある ③多いにある
8. その場合どのような水施設でしたか (7. で②③と思われる方)  
 ①滝 ②池 ③噴水 ④霧 ⑤川、流れ
9. 限られた空間の温環境調整を目的として、水施設を取り入れた都市デザインは可能でしょうか  
 ①不可能 ②難しい ③可能 ④多いに可能 (好ましい)
10. 我々が発表しようとする水施設の新しい提案形態は、今後の水施設の一つのあり方であるとお考えですか  
 ①そう思う ②どちらとも言えない ③思わない (理由 )

### ● プレゼンテーション要旨

#### 『都市水施設の微気象形成機能』

近年の都市開発では建物本来の機能の実現と共に、潤いや安らぎのある快適空間が求められ、水の持つ良さを生かした空間作りが多く行われるようになった。プロムナードにそって流れるカナルや公開緑地に設置される噴水などはその一例である。しかし、これらの水施設は精神的潤いや安らぎを与える「都市オアシスの景観施設」としての役割が主体的であり、視覚的デザインの域を出ていない。そこで我々は水の持つ物理的性質つまり気化熱が大きいこと、比熱が大きいことを積極的に利用して都市内の限られた空間の温熱環境を調整することが出来ないかと考え、その研究を行った。

水施設を冷却を目的として利用する場合、水施設には主に次の2つの効果を期待することになる。

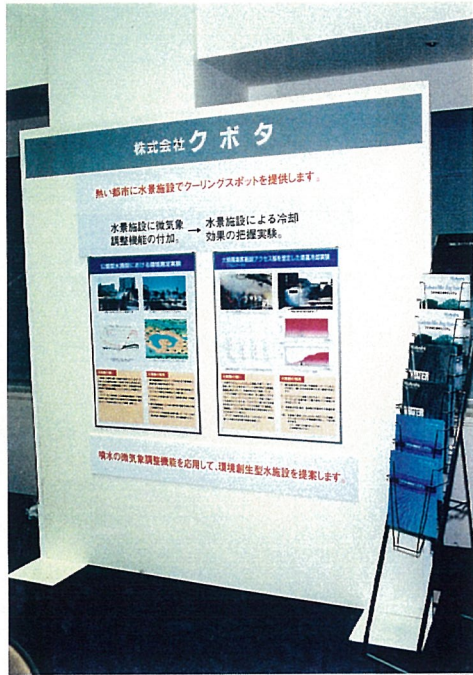
a) 水の気化熱による気温の低減効果 (気温低減効果)、b) 放射冷却 (放射抑制) による体感温度の低減効果 (放射冷却効果) 実際の水施設ではさまざまな水の形態が組み合わせられて利用されており、その効果も複合的に得られているものと思われるが、水施設の持つこのような機能を、我々は微気象形成機能と呼ぶこととした。

本メッセージでは、我々の行った実験や計測で得られた結果をもとにして、このような機能を持たせた水施設の提案例を示したい。尚本研究は大阪大学、大阪市立大学、大阪ガス㈱と共同で実施したものである。

#### ＝ モニターの声 ＝

- 維持管理費等の軽減が課題となろう。(水を回収できない)  
 中水道システム等の併用の検討または雨水を貯留して医療。  
 地中に水を入れて地上からの発散は(樹木に対する効果あり) 天気のいい日に必要となるのでソーラーとの併用。

# プレゼンテーション・懇親会





出展企業名	金門電気株式会社
-------	----------

住 所	〒171 豊島区南池袋 1-18-1 池袋三品ビル
電 話	03-3988-3551
パネ出席者名	山岡恒男、内川重夫、菅原文雄

### ● 評価ポイント

1. SFの複合化について今後の可能性？
2. SFの複合化することでのメリットは？
3. SFすることでの問題点は？
4. 行政の法的整備の可能性は
5. メーカーがSF及び照明柱の複合化を推進していくメリットは
6. メーカーの複合化への役割り

### ● プレゼンテーション要旨

浅草地区の浅草オレンジ通り商店街環境整備事業の施工例をあげ、

1. フラワーボックス、フットライト照明、音との複合化
2. 電話ブース、分電盤との複合化
3. 街路照明と標識の複合化

を試みた。しかしそれらの複合化は設置者間、それぞれの管理者間又、各企業がお互いの妥協点を見つけながら行なわなければならない。これは、いわゆる行政側、管理者側同志の複合化を意味する、この時製作上、メンテナンス上の線引きが問題となってくるが一体化することでの空間的メリットは非常に大きい。これは行政の複合化する上での法的整備、システムが出来ることで更に推進されよう。場合によってはセンターユニットに電話、照明、時計、分電盤、屑入れ、サイン等がとりついた多機能型SFが出現する事が考えられる。

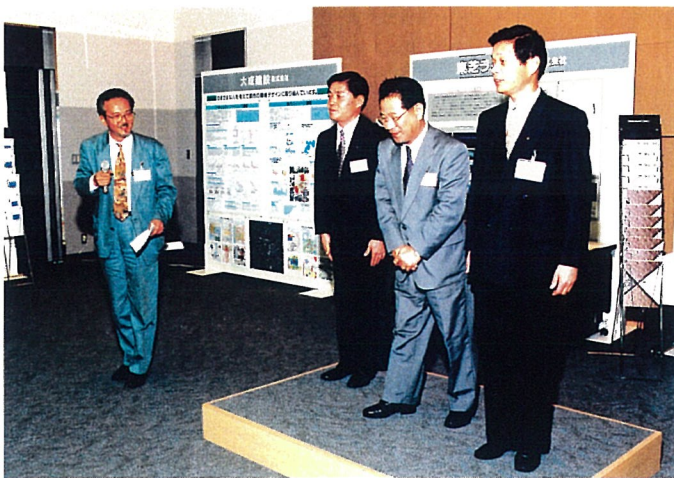
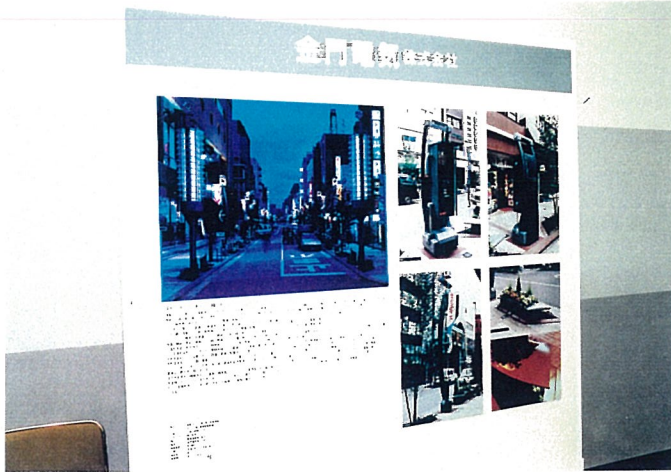
### モニターの声

○SFの複合化は今後広がっていき必要なこととなろう。基本的には、管理者との調整は行政が先頭に立ってやるべきことであろう。

1つには、事例が増えれば楽になると思う。

○必ずしもすべてを複合化することがよいとは考えられない場合もあり、ケースバイケースでデザイナーが考える必要がある。機能を見殺ししたデザインはあり得ない。

# プレゼンテーション・懇親会



出展企業名	株式会社 I N A X
-------	--------------

住 所	〒163-09 新宿区西新宿2-3-1 新宿モノリス
電 話	03-5381-7433
来場出席者名	岡本嘉久一、大淵貴春

● 評価ポイント

1. 都市の歩道で日本の色とは？

● プレゼンテーション要旨

環境美の創造と提供

I N A Xは、1985年に社名変更を行い、新しい企業理念としてI N A X5を定めました。X2の事業領域の部分では「I N A Xは環境美を創造し提供します」ということを理念にかかげております。

本日は「自然との融合」「日本を美しく」という視点でタイル・建材づくりをしていることを合わせご報告致します。

◀…自然との融合…日本の色…▶

自然の木々の緑（ベージュ、ブラウンなど表情豊かに変化します。）との調和。朝夕をはじめ美しい色や表現をする雲とのとりあい。地域を表す、海に流れ出た砂の色。などを参考に、また焼物の原料である「石」、「土」、「砂」の色と本質を追求し、商品開発をしまいにあります。商品は床タイルの場合、ピアッツァOX、RE、プロナード、ピエナード、サンテックフロア、苑路、セラバーン（アーストンエクステリア）などです。

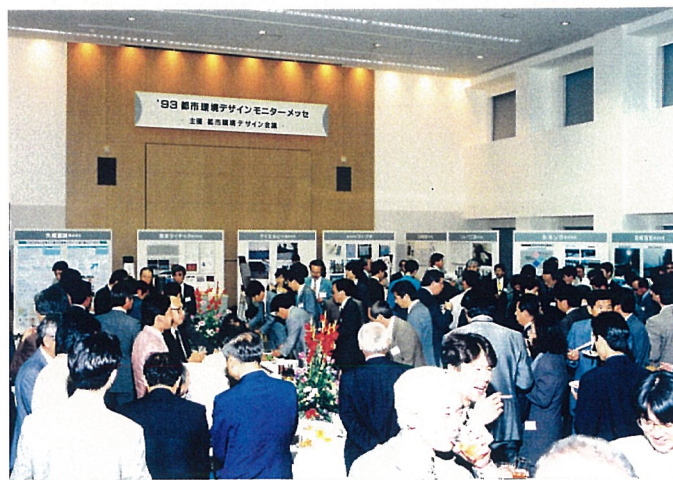
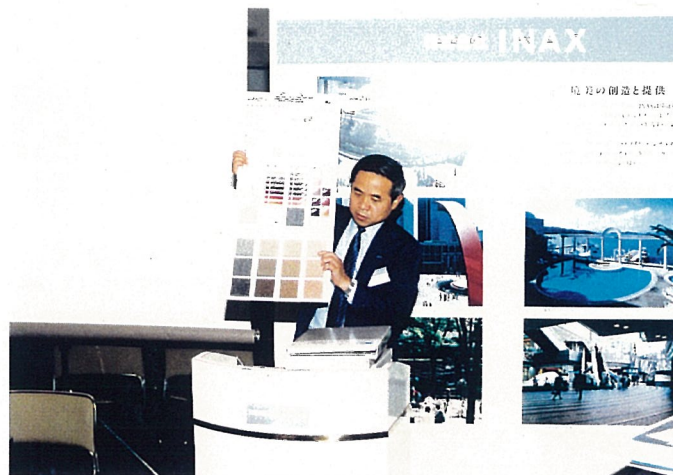
環境美として都市美・生活美・企業美のなかでも都市美について特に施工性、人へのやさしさ、空間構成材としての適性等に配慮し研究と開発をすすめてまいります。今後とも御指導と御鞭撻をお願い申し上げます。

I N A X公共エクステリア事業部 岡本嘉久一

＝ モニターの声 ＝

○より自然石に近くなるよう1枚のタイルの中にも色むら等つけられないだろうか。  
また、自然石に近づけるのとは別方向で自然石よりいいタイルとは考えられないか。

プレゼンテーション・懇親会



出展企業名	アートファクトリー玄株式会社
-------	----------------

住所	〒150 渋谷区神宮前5-2-8
電話	03-3407-9176
来場出席者名	宮田勝巳、豊田良一

### ● 評価ポイント

1. 公共スペースにアートの必要性を感じておられますか？
2. 都市再開発にあたって、ストリートファニチュアはどうあるべきでしょうか？
3. どのような用途の建物、空間にアートの導入が最適であると思われますか？
4. 今回プレゼンテーションした「米子・ふれあい橋」のアート演出の主旨についてどうと思われますか？
5. 散歩道に壁画を設け、アート演出する事で、他の地区の散歩道と差別化する主旨と効果についてどうと思われますか？

### ● プレゼンテーション要旨

成熟し、豊かになった社会に存在する公共空間・公共施設（建物、広場、橋、街路等）は、その機能を果たす事の上に、「なぜ、そこにその広場があるのか、その橋に何が込められているのか」…存在意義、設置理由、価値、を人々に伝え、語ることが求められます。

「伝える」「語る」こと。それを満たす優れた手法の一つとして、アートが持つ特性（精神的触発性）の積極的活用は、大きな力になるでしょう。

1. アートファクトリー玄は、ここに特化し、日本の街づくり、地域づくりにアートの価値を活用し、「語り」を具現する数々のアートオブジェや街具の企画を、立案から施工完了まで一貫して実現してきました。

2. また、設置だけで終わらせず、そこに込められた「語り」をより広く伝えるための広報計画や、より長く伝えるための保守監理プログラムも合わせて提案し実施しています。

#### 事例-1 米子市「ふれあい橋」

旧市街と新市街の間の歩行者専用橋を、2つの街を結び人々の交流を図る、心にかかる掛け橋となるよう、ゲート、高欄、親柱、モニュメント、ベンチに、アート性の高い演出を行いました。

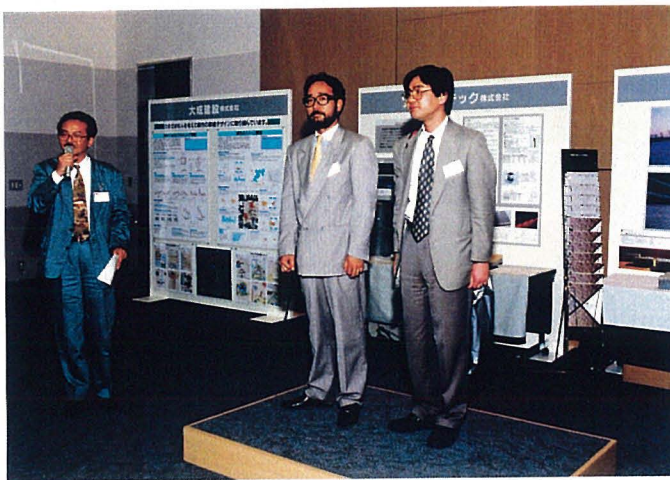
#### 事例-2 田無市「緑と歴史の散歩道」

楽しく、安心して散策できる散歩道を目指し、世界とつながる田無にしたい、という願いを込めて制作した壁画と、夜間はフットライトになる車止め、地元の昔話を題材にしたきつねのモニュメントを設置しています。

### モニターの声

- アート（ここでいうアート）は、時と場合を十分に考えるべきである。  
（デザイン・景観）=アートとは必ずしもならない。特に壁面に絵を書く時はよほどうまくやらないとマイナス効果となる。
- アートは個人々々の好みはあるが、公共施設は不特定多数が利用する。
- アート性は必要だがアートが必要かどうか？

# プレゼンテーション・懇親会



出展企業名	株式会社大林組
-------	---------

住 所	〒101 千代田区神田司町2-3
電 話	03-3292-1111
来場出席者名	原田州堂、森 哲郎

### ● 評価ポイント

1. 先見性 2. 工期の大幅短縮 3. 経済性 4. 施工管理の一元化 5. 品質の確保
6. 安全性の確保 7. 専門の作業チームによる施工 8. バーコードによる管理システム
9. 周辺環境への配慮 10. 先進性

### ● プレゼンテーション要旨

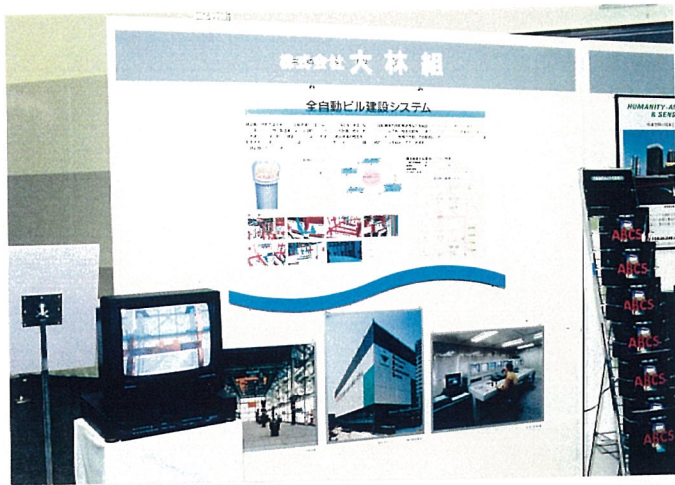
大林組が世界ではじめて開発した“全自動ビル建設システム”を紹介したい。建築物は、都市景観を左右する大きな要素であろう。これまで手造りの美しさを提供してきた建築群に、新たに自動化工法による建物が姿を現しはじめたのだ。実用化は始まったばかりだが、ここに自動化施工に最適のデザインを追求し、新しい都市景観への可能性を拡げたいと考えている。省力、コストダウン、工期短縮といったテーマに画期的ともいえるチャレンジを試みた新システムをご理解いただき、未来の都市を改めて考えていただく機会としていただければ幸いである。

この新システムは、建設現場にFA（ファクトリー・オートメーション）の考えを導入することで建設工程の自動化、ひいては無人化を目指したもので、在来ビル建設の概念も一新させている。雨や風などの影響を受けないよう、現場は屋根と壁で覆われたビル組立建設工場と垂直搬送機とで構成されている。柱、梁、床、内外装などが垂直搬送機により搬入され、工場内部の天井クレーンが各部材を所定の位置へ運び、位置決めし、溶接ロボットにより溶接される。外装も当社開発のワンタッチファスナーにより簡単に取付できる。こうして、7フロアの工程がおわると、クライミング装置により工場全体が1階分上昇する。同様の工程を繰り返し、ビルは上へ伸びながら順次できていく。騒音もなく、24時間施工さえ可能な新時代の技術といえるだろう。

### ＝ モニターの声 ＝

- 工事中の周辺環境へのメリット
- デザインの画一化への不安
- 建設現場周辺の経済効果に疑問？
- 人的資源をなくしてしまわないか。
- 土木工事、都市土木工事の中での平面方向への展開は可能なのだろうか。
- 全自動化に質的不安を感じる。見えない部分と人のかかわりがもう少し必要なのではないか。
- 自動化にあたっての問題を充分吟味した上での実用化、提案の姿勢がほしい。  
自動化はプログラミング・ミス管理など従来の現場にはなかった管理統制システムが必要となり、社会的問題に発展する可能性もある。
- 全自動施工のビデオは迫力があつた。今度CGを見てみたい。
- これからの時代を睨んだ画期的なシステムだと思いますが、覆いのデザインにも十分な配慮が必要だと思います。

# プレゼンテーション・懇親会





出展企業名	住友軽金属工業株式会社
-------	-------------

住 所	〒105 港区新橋5-11-3
電 話	03-3443-9281
カバン出席者名	若林良樹、鈴木 稔

### ● 評価ポイント

- 1.
- 2.
- 3.

### ● プレゼンテーション要旨

〈今回の出展商品〉

- (1)アーバンスペースフレーム (立体トラス)
- (2)アルミハニカムパネル (接着パネル、ろう付パネル)

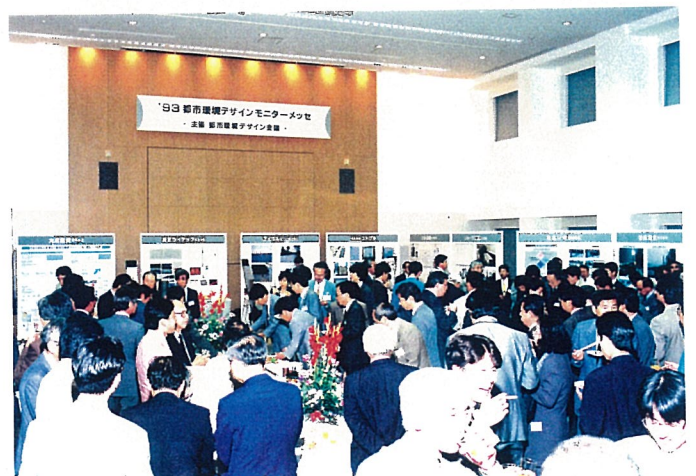
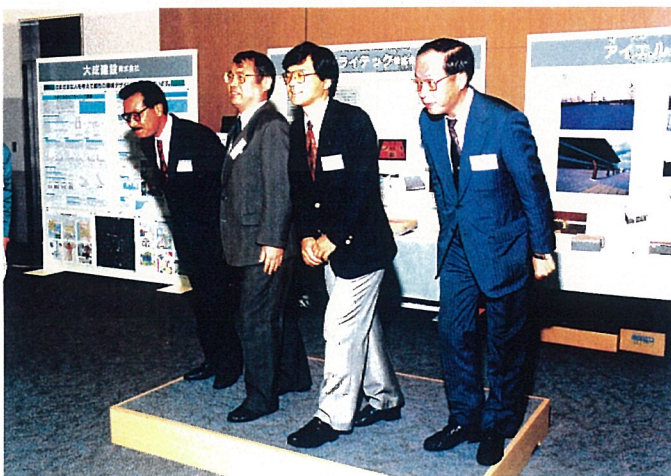
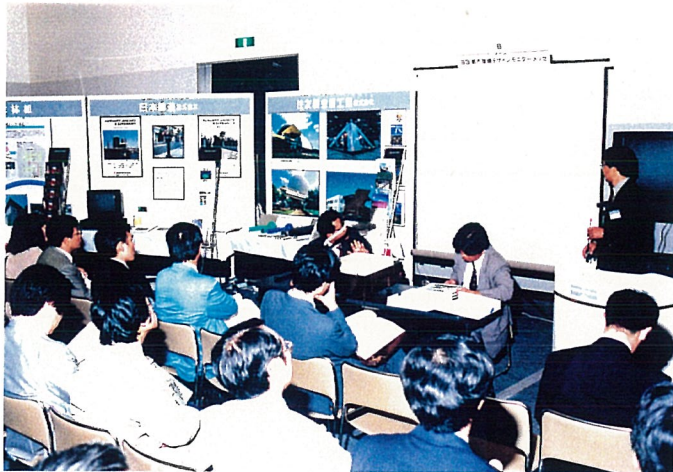
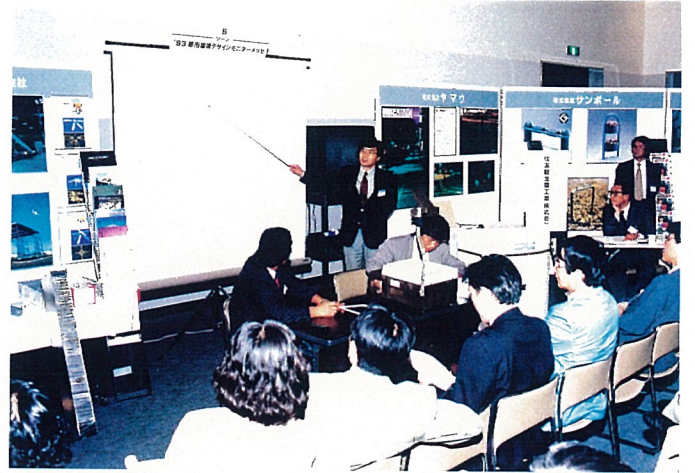
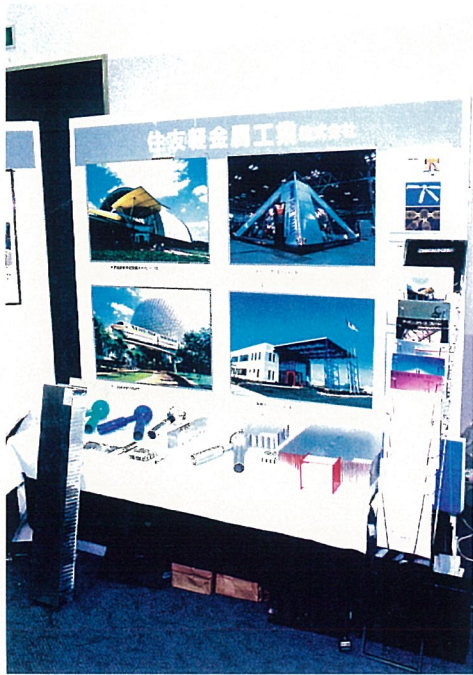
〈商品説明〉

- (1)アーバンスペースフレーム：アルミ合金の立体トラス唯一のトータルシステムで、豊富な実績を残す米国STARNET社より技術導入(1990年)
  - (特徴) 1. アルミ合金節点金具、(Hub)とアルミ形成ストラットにより、精度の高い立体トラスを構成
  - 2. STARCAD設計システムによるデザイン構造解析—製作指示の一貫システム。
  - 3. 多様な材料との組み合わせができるサブシステム
  - 4. 多様な表面処理・アルミ素材のもつメンテナンスフリー・構造重量の軽量化・施工の簡略化などのメリット。
  - (用途) アトリウム—大規模商業施設、高層ビルの吹抜空間      大屋根—展示場・公共広場のコミュニティー、イベントスペース      キャノピー、モール、エントランス、開放的なショッピングモール
  - ドーム—スタジアム、アリーナ、プラネタリウム
- (2)アルミハニカムパネル：
  - 2-1) 接着ハニカムパネル：ハニカムコアと多様な材質の面板を接着剤によって接合する高品質・経済性の優れたパネル
    - (特徴) 軽量、高剛性、すぐれた平坦性、一貫生産耐性に幅広い用途に対応する。
    - (用途) カーテンウォール、屋根パネル、フリーアクセスフロアー、インテリア
  - 2-2) ろう付きハニカムパネル：接着パネルをハニカムコアとアルミ面板ろう付接合して、更にグレードの高い特性をもつ、パネルを開発
    - (特徴) 1. 軽量、高剛性のハニカムパネル特有の性能はもろろん
    - 2. 高温強度、耐熱性、耐食性に優れている。
    - 3. パネル間の溶接により、大型構造パネルの展開出来る
    - 4. 曲げ加工が可能
    - (用途) 仕上材と構造材を一体化した、下地板不要      ニューデザインへの対応が可能
    - 大屋根、多様な曲面パネル、超高層カーテンウォール
    - 構造用部材として、次世代新幹線車両、リニアモーターカー、自動車向に試作などに採用

### モニターの声

- アルミの持つ特性を十分に生かしていると思う。
- リサイクル度の高いアルミ製品であるのでリサイクルと関係づけて商品開発を提案してほしい。
- アルミ製品としての、適材適所という点をより明確化していくとよいのでは。
- 接着剤への信頼性
- コストダウンをお願いします。
- 曲面加工の範囲
- 屋根材の音
- 出来上がった建築物、工作物が従来より軽く見れるようになることが期待できます。この利点をデザイン面にも充分活かして下さい。

# プレゼンテーション・懇親会



出展企業名	リョーワ工業株式会社
-------	------------

住所	〒101 千代田区外神田2-19 五島ビル
電話	03-3251-1251
来場出席者名	崎山 勲、池戸一正

## ● 評価ポイント

1. 工業デザイン的に製品をチェックをお願い致します
2. 質感
3. 風合
4. サイズ
5. 形状
6. 今後現場で使用してみたいと思われませんか

## ● プレゼンテーション要旨

### ● 磁器質タイルブロック

#### ○ 材質・製法上の特徴

通称、御影質タイルあるいは擬石タイルと呼ばれている、御影調の磁器質タイル「サンセラミカゲ」の風合い、質感をそのままにブロック化した製品「サンセラロック」が、舗道や公園舗装のみならず建築外構の分野でも好評を博している。

この製品は、完全一体の高温焼成による磁器質タイルでありながら、厚さ60mmのブロック化に成功し、コンクリートを打設せずに施工できる点で「地球に優しい」舗装用資材となっている。

製品ラインアップは、100～200角までのサイズで、面状・色調の異なる3シリーズが用意されている。また、透水タイプもあり、豊富なバリエーションとなっている。

#### ○ 製品特長

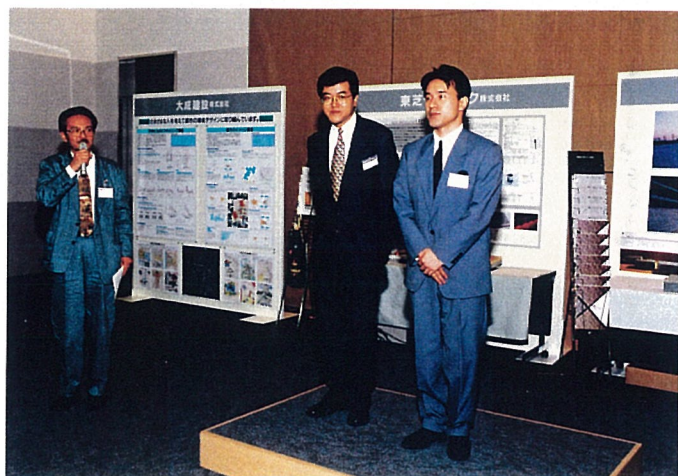
- ・御影質タイル同等以上の質感・色合い
- ・磁器質タイルの特性そのままの多色性・高強度
- ・ノンスリップ性に優れ、経年変化耐性にも強い（色あせしない）
- ・乾式施工による工期短縮、施工の容易性
- ・メンテナンスが簡単
- ・リサイクル原料を使用し、環境と省資源化に寄与
- ・円形貼りタイプ
- ・ユーザーよりの強い要望により円形貼りタイプを新発売
- ・デザイン、割付サポート 設計・施主の皆様

の要望に応じデザイン、割付等のお手伝い致しております。

## ＝ モニターの声 ＝

- タイルそのものの展開としてもっと自然材料の質感に近いものはないだろうか。
- 今後は環境保全の観点から透水性のものを中心に開発を行ってほしい。（ローコスト化など）
- インターロッキングのイメージとは別のスタイルが必要。
- 車道利用への安定性は実験等によりデータ化し、アピールした方がよい。
- コンクリートを打設せずに施工出来る点は非常にすぐれていると思います。重量物が載ったときにも耐えられるようにして下さい。

# プレゼンテーション・懇親会



出展企業名	日本鑄造株式会社
-------	----------

住 所	〒210 川崎市川崎区白石町2番1号
電 話	044-322-3990
パネ出席者名	五十嵐幹雄、折井 徹

## ● 評価ポイント

1. 景観デザイン商品のコストは一般の標準品に比べてコストアップとなりますが、その判定基準になる様なガイドがあるのかどうか教えて戴きたい。
2. 景観デザイン商品の定義なるもの — 標準品にレリーフやマークを付加する安易な手法もありますが、景観デザイン商品として認められるものなのでしょうか。
3. 耐候性やメンテナンスを重視する余り、その素材はアルミやステンレスが多用される傾向となりますが行政サイドとしてどの程度の範囲迄の維持管理費が使えるのでしょうか。
4. 公共空間における造形物の殆どにデザイナーの名前が残されなくなりましたが、行政上の問題があるのでしょうか。
5. デザインが決定された後で、行政間のすり合わせにより設計変更（特に警察協議）をされるケースもあり、事前にプランナーや行政の間で調整ができないものなのでしょうか。

## ● プレゼンテーション要旨

私達の仕事は鑄造品を現代のデザインに適用することを目的としています。

鑄造という技法が日本で使われたのは出土した鑄型の推定から弥生中期頃からとも言われており、以来、奈良時代の菩薩像や仏具、凡鐘等を造りながら日本の鑄造技術は発展し、文化資産としても価値の高いものを後世への遺産として残してきました。この様な永い歴史を持った鑄造技術は最新設備を持った現代においても継承されてきており、日本鑄造においても70数年に及ぶ鑄造専門のトップメーカーとして、豊富な経験と多くの優れた技術を有しています。

鑄造品にはデザイン自由度の高さ、質感や暖かみの表現力、エージング等素材が持つ魅力は多く、特にデザイン自由度の高さはデザイナーの創造力を刺激する大きな要素であると考えられます。

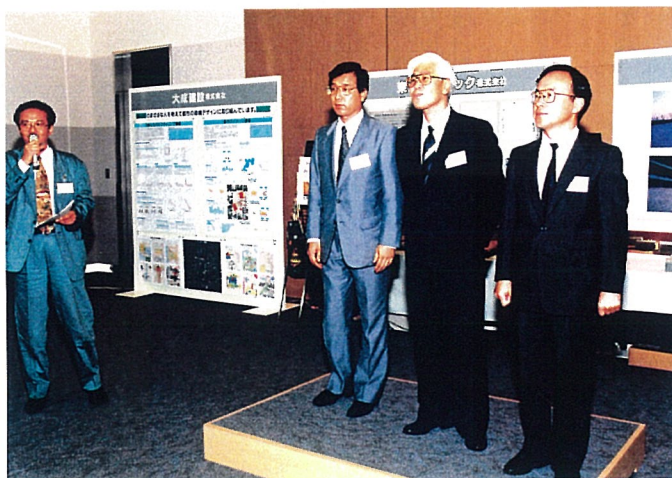
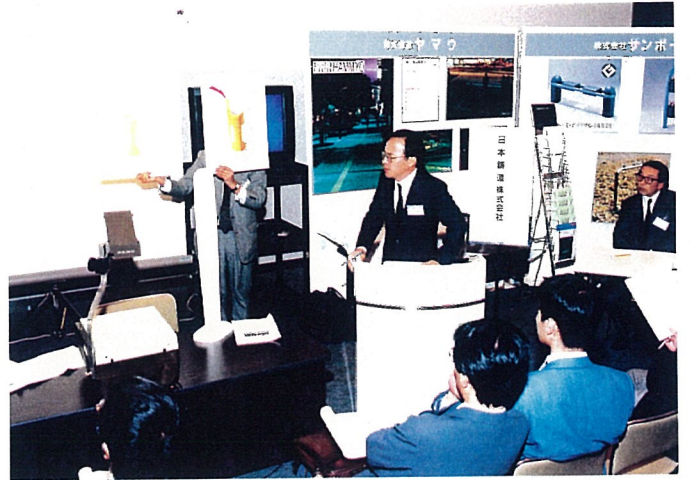
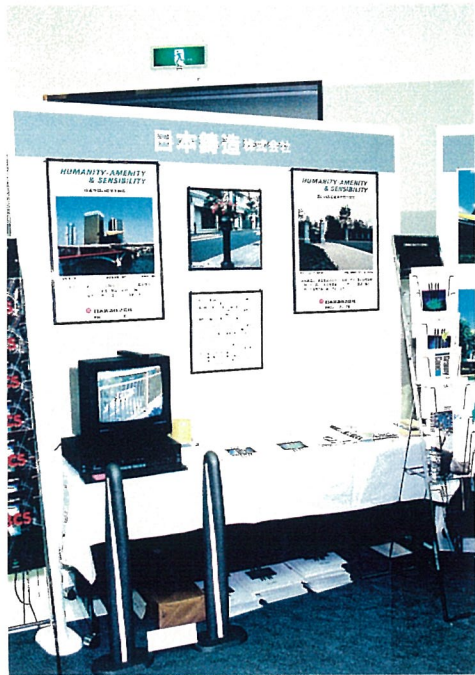
しかし、デザインによっては従来の鑄造分割を必要とする造形法にも限界があると同時に、バリやハグミを生じることもありました。そこで、従来より大型単品生産用として採用されてきた消失模型鑄型（F・M法）の手法をアーバンファニチャーの様な小物多量生産品に応用し、従来方法では造るのに困難であったデザインへの対応も可能となりました。F・M法の型は一回づつ消失してしましますが、CAD・CAMの技術を応用することで同一で精度の高い型をつくるのが可能となり、コスト的にも従来と同等の商品づくりができます。

新技術の応用、既存技術の改善を行いながら、当社は良質でデザイン性の高い鑄造品を提供致します。

## モニターの声

- 小量ユニットの生産ありがたい。
- フルモード法は何かおかしいような気がする。鑄造のよさらしさを大切に。無理してデザイン化する必要はない。造られる過程の見える製品作りを。
- 木型屋さんがいなくなっている現代、特注は彼らの技術を生かしていきたい。
- 鑄製品は、単品であると高く、多数造ると割安となるのだが、F・Mシステム、コンピュータ等の活用により、小数で割安製品が出来るとよい。
- 重量的なデメリットは。
- フルモード方式による鑄造は、鑄造品のこれからの方向として大きな可能性があると思います。標準品に対するコストアップは、他の製品や標準品との相对比较により判断されるもので、ガイドはありません。

# プレゼンテーション・懇親会



出展企業名	小糸工業株式会社
-------	----------

住 所	〒108 港区高輪3丁目5番23号
電 話	03-3443-9836
来社出席者名	露谷幸雄、藤田淳一

## ● 評価ポイント

1. デザイン提案の際、1本に集約された形でのご提案と選択余地のある数点のご提案とでは、どちらをご希望されますか。
2. 既存の街並みの道路灯のデザイン化において、特に景観との整合に関係なく、歴史的、地域の特徴でデザインすることについて。
3. クライアントおよびデザイナーの当事者間でのデザイン評価と一般の人がどう見るかについての考察事例またはご意見。
4. 景観の対応重視の中で、光学性能のためのデザイン変更することについてのご意見。
5. 地域の特徴をだすため、郷土物産、動物、花などのシンボリックのワンポイント装飾を付けることのデザイン性についてのご意見。

## ● プレゼンテーション要旨

### 《道路照明における景観対応》

メーカーとして景観事業に対応してきた取り組みの一端をご紹介させて頂き、皆様のご意見、アドバイスをお願い申し上げます。

#### ①デザイン対応。

当社における公共事業の道路照明へのデザイン対応は、当初はメーカーがご提案した中から、施主が選ぶというケースであったものが、現在は、施主がデザインを含めた設備設計をコンサルに発注するようになり、コンサルのデザインコンセプトやデザイン案に対して、性能・製作面でご協力させていただくケースが多くなっています。これにより、器具デザインにウェイトがかかっていたものが、ポールを含めた全体のプロポーションによる景観との整合を重視するようになり、対応に最前の努力を行っています。

#### ②器具の性能とデザイン。

当社の客先である施主は、主に道路管理者であるため、設置基準に基づく照明設計上の考慮が必要となりますので、器具の光学特性と設計基準に対するデザイン性の整合を考慮しています。

#### ③照明灯の昼の顔と夜の顔。

夜間のための照明灯とはいえ、景観との整合は昼間のデザインにウェイトがかかります。夜の顔は、光学特性に基づく配光パターンの結果として表現される場合が多く、今後も夜間の景観性を考慮した対応について、研究します。

○照明設計でなく「あかり」をデザインしてほしい。

対象範囲主体で検討するだけでなく、周辺部も含め総合検討をしてほしい。

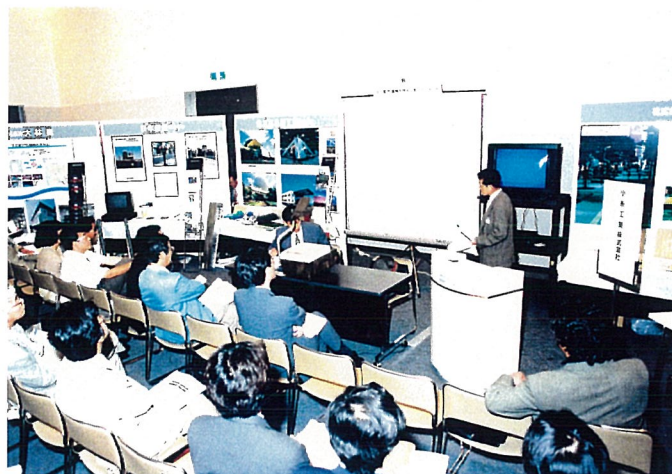
○道路、歩道等の照明は今後更に重要になるといえる。これまでの照明のみを考えたデザインが多いのは、反省すべき点である。

公の場に設置する施設の1つとして安易に作らずより良いものを提案してもらいたい。

○反射板にこだわらないで考えて。 ○美しい形そのものを求めてほしい。

○すぐれた製品が多く感心しました。今後は狭い道の道路照明が課題と考えています。ワンポイント好ましくありませんが、洗練されたものがあれば受け入れられると思います。

# プレゼンテーション・懇親会





出展企業名	株式会社ヤマウ
-------	---------

住 所	〒103 中央区日本橋堀留町1-4-16 ルネ堀留町ビル8F
電 話	03-3669-2530
カギ出席者名	多久島和広、小林 努、田中厚一郎

## ● 評価ポイント

1. LEDの点灯については、弱視者の誘導及び美観の為であるが、その効果について
2. ネスティ（専用白杖）により手に伝わる震動で誘導するがその効果について
3. ネスティ（専用白杖）及び平板が全国的に普及すれば、誘導平板の凹凸は必要なくなると思われるが、その将来性について

## ● プレゼンテーション要旨

「スレッドピカコン・HAMMYO」。(フェライト磁気誘導システム)

### ● 震動にて誘導

磁気標識体（スレッドフェライトブロック）にネスティの磁気センサーが触れると、微弱震動が手に伝わり誘導路を確認できる。

### ● いろんな場所に設置可能

市役所、福祉センター、学校、デパート、駅、バス、タクシー乗り場、歩道、横断歩道、車道、交差点、公園はもちろん、買物ルート、病院、地下街等、人が歩くところはどこでも設置できる。

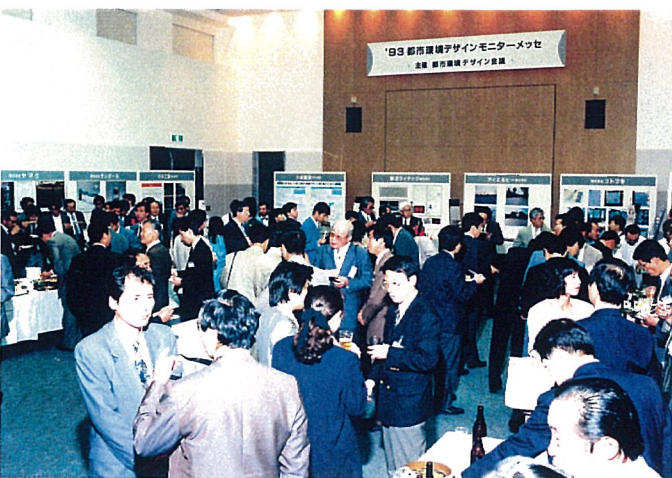
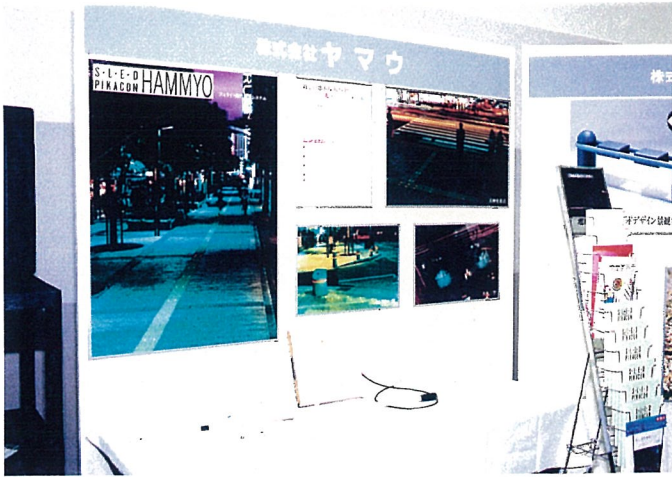
### ● 色調や模様が自由に選択

磁気標識体の表面は、いろんな処理加工が可能。色調や模様が自由に選択できますので、周囲の環境に合った歩きやすい誘導路を作ることができる。また、LEDを埋め込むことにより、弱視者を夜間でも誘導します。LED=面発光高輝度発光ダイオード採用により、明るくあらゆる方向から視認できる。低電圧（12V）で使用する為、感電・発熱の心配もなく、使用時の消費電力も少なく経済的。点灯時間、輝度の調整が可能、光のデザイン（配列）は自由に出来ます。

## ＝ モニターの声 ＝

- 天神の評価を弱視者側から聞きたい。
- ストリートファニチャーに光を埋めこむことは、両刃のやいば的などところがある。光の使い場所について更に研究されたら新しい使い方が発見されるように考えられる。
- ハンディキャップ商品は、健状者の発想でなく、先方が何を必要としているのかを行政と共に考えてほしい。  
思いつきの提案でなく、医学、福祉、ハードとソフト等巾広く検討して商品開発してほしい。
- 弱視者の状態は各人によって大幅に違う。障害者に対しどの程度対応してよいのか疑問。アンケートを取ってほしい。
- 弱視者への熱心な研究、取り組みは高く評価されると思います。ただしコスト高になること、磁気ブロックのコスト高分を誰が負担するか等が課題だと思います。

# プレゼンテーション・懇親会



出展企業名	内外テクニカ株式会社
-------	------------

住 所	〒600 京都市下京区五条通河原町西入本覚寺前町826
電 話	075-344-0001
ルビ出席者名	中村一雄、北村昌積、藤井伸弘

## ● 評価ポイント

1. 古都京都にマッチしたデザインとは？  
古都の街並みに溶け込んだデザイン開発
2. 駐車場の外装材のデザインの有り方とは？  
ただの覆いから、地域景観を考慮した外装材へ
3. 伝統的外観の再現に向けて！  
京の町家の伝統的なディテールを、駐車場の外装材として再現
4. 安全な外装材の提供を！  
アルミキャスト製の外装材で防災面、耐久性を大幅アップ
5. 地域景観に合わせた様々な外装材の提供へ！  
各地域が目指す景観作りにマッチする、様々な外装材の提供を目指して

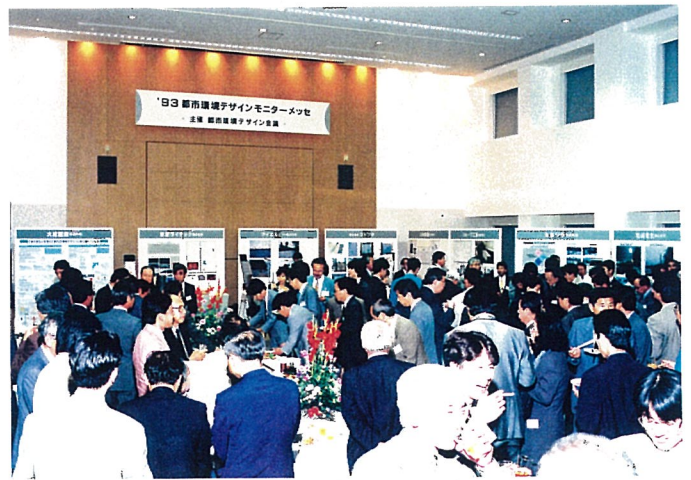
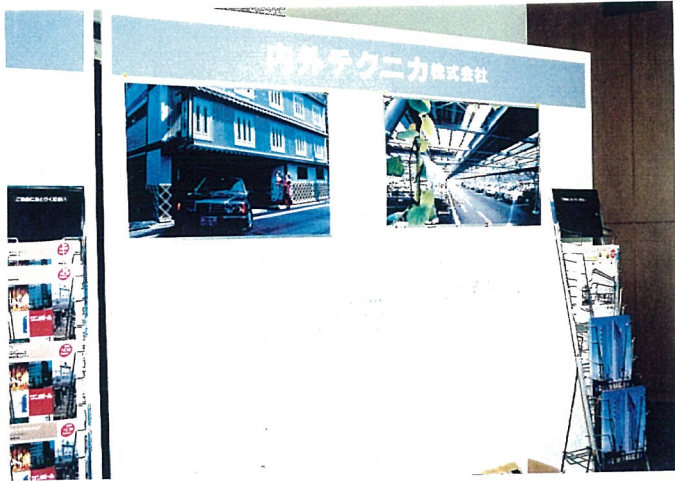
## ● プレゼンテーション要旨

これまで都市交通問題に真剣に取り組んできた弊社が、都市景観対策の決定版として、和風立体駐車場「京の庫」を開発しました。この「京の庫」は、弊社が長年培ってきた技術と経験から生まれた三層四段エレベーター式立体的立体駐車場「タカパーク」の外装部分に京風の“庫”のしつらえを門構えのデザインに活用した、地域景観対策にうってつけの外装デザインです。古都京都ならではの趣きに満ちた街並みにしっとり調和する和風立体駐車場「京の庫」は、世界に誇る貴重な古都、京都の景観を、大切に受け継ぎ守るという観点から生まれました。古いものを大切に、新しいものとも共存できる京都だからこそ生まれた設計思想なのです。この設計思想を生かすために、倉作り上部の白壁、下部の生子壁、屋根瓦等の小さなディテールに至るまで、リアルに伝統的外観を再現しました。また、このディテールは全て、素材にアルミキャストを用いることにより、耐久性を高め、防災面でも安心して使用できるように開発されています。さらに、この外装材はパネル組立方式を採用しており、工期も大幅に短縮されています。このアルミキャスト製の外装材は、倉作りだけでなく、地域の景観に合わせた外装作りが可能となっており、この「京の庫」に続いてスペインの風の外装デザインの「バルセロナ」も続けて発売する予定です。このように、「京の庫」は地域景観保存対策に最適の外装材となっています。

## ＝ モニターの声 ＝

- 駐車場の外観を地域の景観にあわせていくことはよいことだと思う。  
今後の課題としてはデザインの多様性に対応できることと、単に昔のデザインの組合せでない新しいディテールの研究をしてほしい。
- フリーデザインシステムにして欲しい。
- 製品として考えないで外壁を受ける下地システムまでを主たる製品とし、外壁部は個別デザインにする。
- 日本全国京都ではない。日本の建物のプロポーショナルをもう少し理解してもらいたい。
- 京都の駐車場にはビックリ。
- 張りボテ風デザインは感心しません。和風の要素のみを取り出し、抽象化してさりげなく表現することが望まれます。

# プレゼンテーション・懇親会



出展企業名	株式会社サンポール
-------	-----------

住 所	〒150 渋谷区神宮前3丁目27番15号
電 話	03-3408-2691
丸印出席者名	佐々木浩一

### ● 評価ポイント

1. (ベンチ) デザインについて
2. (ベンチ) カラーは何色が良いか
3. (フラワーポット付車止め) 大きさは
4. (フラワーポット付車止め) カラーは何色が良いか
5. (小鳥付車止め) 大きさは
6. (小鳥付車止め) 小鳥の配置は

### ● プレゼンテーション要旨

#### “街路用ベンチ” (景観賞受賞)

せまい歩道でも場所をとらずに設置できる、奥行260mmのスリムなベンチです。

支柱は単体で車止めとしても、使用出来ます。

パイプを長くして3人掛けも出来ます。耐久性に優れ、カラーを変える事によって歩道をオシャレに演出出来ます。

#### “フラワーポット付車止め”

季節の花を二段に飾れる車止めです。商店街の歩道や、都市街路の歩車道区分に、鉄の堅いイメージを美しい花でやはらげます。

#### “小鳥付き車止め”

とかく殺風景な車止めのイメージを、小鳥を付ける事によって、可愛らしさを演出しました。

3羽の仲良し小鳥と1羽のハグレ鳥を配置して、商品名をピコリーノと名付けました。

小鳥は絶対に外れない工夫がしてあります。

### ＝ モニターの声 ＝

- 同一製品を多く売ろうとする態度が印象がよくない。  
ユニットを売り、場所に合わせて変化できるものにしてほしい。
- ストリートファニチャーの会社として各都市毎の個性を無視し設置するのではなく、設置場所に合わせた使用を充分考慮してほしい。
- 定番としてのストリートファニチャーはできるだけ個性のないものも必要。  
地域性を強く出すものと目立たない定番が必要では。
- 営業と技術とデザインがセットで活動してほしい。
- 遊び心のある街具を今後も開発されるよう期待しています。但し、ニセモノはダメです。紛いモノは許されず。

# プレゼンテーション・懇親会



出展企業名	アイエルビー株式会社
-------	------------

住所	〒113 文京区本郷1丁目28番23号 弓町秩父ビル2F
電話	03-3815-1711
カシ出席者名	松井亮樹、樋口晶彦、須田重雄、千田東治、大島大八、川崎正俊、吉田八郎、津田外喜弘 吉田征義、近藤玲美

### ● 評価ポイント

1. 湿式施工のタイルや天然石は問題があると思うか？
2. 紹介したタイル複合ILB、天然石複合ILBは、湿式施工の問題点解決に有効と考えられるか？
3. 品揃えは都市プランナーのニーズに合っているか？
4. 商品デザインは都市プランナーのニーズに合っているのか？
5. 性能およびデザインに対し、価格は妥当と言えるか？
6. 目地材の種類および性能はこれで充分か？

### ● プレゼンテーション要旨

タイル・天然石の乾式舗装材（タイル・天然石複合ILB）

従来より、タイルや天然石は景観舗装材として広く使われている。しかし、施工がモルタルを使用する湿式施工であるため、施工性、耐久性、補修性に問題があった。そこで、これらの改善のため、タイルあるいは天然石とILBを複合し、タイルおよび天然石の乾式施工化を実現した。実用化において検討した事項は、商品デザイン、複合量産技術、目地構造、目地材料、舗装構造等である。開発した複合ブロックの特徴は以下の通りである。

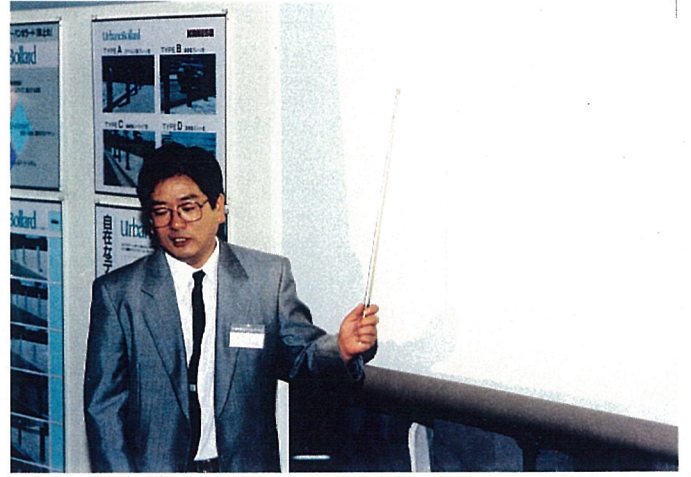
- (1)乾式施工化により、施工の簡易化、施工速度のアップ、補修の簡易化、伸縮目地の省略が図れる。
- (2)複合量産技術により、車道にも充分耐える接着性能と、量産化ができる。
- (3)タイル寸法を基台ブロック寸法よりも小さくしたことにより、タイル相互のせり合いによる破損を防止できる。
- (4)特殊目地材により、湿式施工と同等の目地の仕上がりとなる。

しかし、短所として、(1)価格が高い。（タイル複合ILB：14,800円/㎡、天然石複合ILB：29,800円/㎡）、(2)目地の通りが悪い。(3)目地の仕上がりが悪い。などが指摘されている。この商品の完成度を高め、市場に受け入れられるようにするための方策が見い出せるような御意見が得られたらと思う。

### モニターの声

- タイルの生かし方、石の生かし方を別々に研究されることを勧める。厚さ、寸法それぞれ違う生かし方があると思う。
- 自然石を使いながら自然感が十分出ていない。 ○任意の産地の石を指定して使えるとよい。
- 天然石複合タイプは大きさが小さい。天然石のもつ、風格・高級感は500角とか400×600とかの大きさがないと人工的で人工ミカゲタイルのようになってしまう。
- 道路表示への対応をお願いしたい。自然な色ムラのある、タイル、ブロックがほしい。
- ILBに貼ることに抵抗が残る。性能が上がってもやっぱりニセモノ感はいない。
- コストが高い点が最大の難点。天然石はサイズが問題。
- 工業製品であることを活かし、メンテ時に色が変わらないなど、努力してほしい。
- 地方でも、各サイズがそろうようにしてほしい。

# プレゼンテーション・懇親会





出展企業名	株式会社コトブキ
-------	----------

住所	〒100 千代田区有楽町1-2-12
電話	03-3438-4531
ルビ出席者名	岡 達彦、百瀬迪美、上野山直樹

## ● 評価ポイント

1. 都市景観デザインの中での公共サインの重要性
2. 画面デザイン、特に異なった地域間における利用者側の統一性
3. 画面サイズ
4. 地図表示領域（1km四方 歩行可能距離）について
5. 外国語（英文）併記について
6. 住居表示、通り名称、誘導表示等各種サインの統一性について
7. 公共サインの表示内容（道路、地番、公共施設名など）

## ● プレゼンテーション要旨

### 「景観づくりと都市サイン」

街づくりが機能整備を重点にした画一的な手法から、「魅力ある住み易い街」を求める時代が変わって来ています。この為、日本各地で都市のアイデンティティやアメニティに関して様々な模索が行われています。

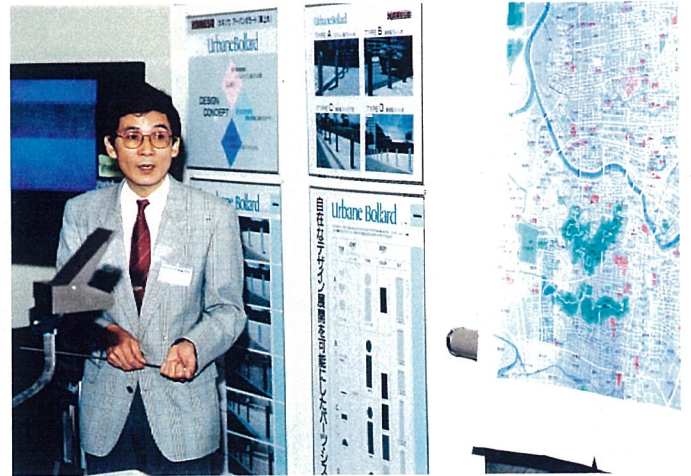
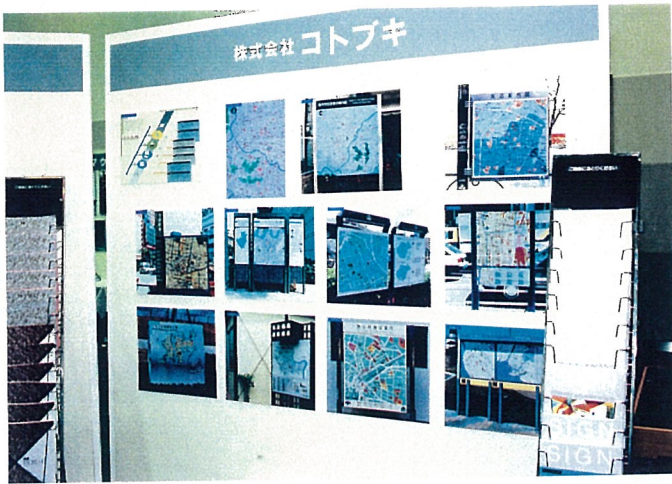
コトブキの都市サインは、こういった街づくりに貢献するアイテムの1つと考えています。盾の高い街の案内板が各地で設置され、単に「駅前広場」「緑道」「公園」などといった限られた空間を対象にした個々のサイン整備から、都市のCIや国際化の一環として都市全体をとらえたサイン整備へと変化して来ています。この様な都市サイン整備が成功した街は、「わかりやすく、イキイキした街」として、全国から注目されています。

地域CI（CITY IDENTITY）、国際化の強力な推進要素である都市サインの整備は、多様化した都市の構造の情報伝達の手助けとして、さらには、美しい都市景観を構成する重要な役割を担うものとして位置づけ、コトブキは取り組んでいます。

### モニターの声

- 新しい公共サインシステムとしておもしろい。耐候性のよいYMCK印刷を調べてほしい。
- サインの場合、地図とちがいが必ず上が北になっていなければならない場合がある。方向性の自由に対応可能か。
- 安定した製作工程が示され、安心して使えるシステムであることは理解したが、サンプルと実物の色の再現やデザイン面での支援機能等、よりデザイン・マインドを意識したプレゼンとしてほしかった。
- GJS等のデータベースとのリンクができるとよい。地図会社との連携があると、観光ガイドブック等と現地の対応関係が、ユーザーにとってわかりやすいと思う。
- 興味深かったが、メンテナンスのシステム、コストが問題。必要以上に細かいデータが入ってかえってサインの効果を減じないか。
- サインの原データはどれくらい保存されるのか。地図情報の表示方式の検討がほしい。
- 新しい方向性を感じた。

# プレゼンテーション・懇親会



出展企業名	岩崎電気株式会社
-------	----------

住 所	〒105 港区芝2-1-28 成旺ビル5F
電 話	03-3451-6111
来場出席者名	大谷忠志、飯塚矩規

### ● 評価ポイント

1. 街路照明用光源として、ランプ光色を切り替えることができるということは、光源を選ぶ場合の優位点になり得ると思いますか？
2. ライトアップ用光源としてランプ光色を切り替えることができるということは、光源を選ぶ場合の優位点になり得ると思いますか？
3. 季節による光色の切り替え、1日の中での時間帯による切り替え、イベント内容に呼応した切り替えなどがありますが、どのような場合の切り替えが有効とお考えですか？
4. このランプには、特殊な口金が用いられていますので、照明器具（ソケット）も当該ランプ専用となります。このことは、このランプを採用する際にハンディキャップになると思いますか？
5. このランプを使用してみたい（計画に組み入れてみたい）と思いますか？それは、どのような用途（施設）にですか？
6. このランプについての感想、意見などありましたら何でも結構ですので教えて下さい。

### ● プレゼンテーション要旨

#### 2色発光形HIDランプ — EYE TWIN ARC —

「ツインアーク」は1つの外球の中に、光色の異なる2つの発光管（水銀ランプと高圧ナトリウムランプ）を組み込んだ、全く新しいタイプの放電ランプです。水銀ランプは青白い光を放ち、木々の緑を美しく演出したり、清涼感のある光環境をつくるのに適しています。高圧ナトリウムランプは赤橙色の光で、紅葉やレンガを美しく見せたり、温かな雰囲気をつくるのに適しています。この2つの光色が、ランプや点灯装置（安定器）を取り換えることなく、スイッチを切り替えるだけで得られるというのが「ツインアーク」のセールスポイントです。

同一外球内に組み込まれている2種類の発光管から放射される光の量（光束）が等しくなるように設計されていますので、光色を切り替えても同等の明るさが得られます。したがって、都市の街路の照明に用いて、夏は涼しい雰囲気の水銀ランプ、冬は温かい光色の高圧ナトリウムランプを点灯したとき、路面の照度は年間を通じて同等に保たれます。また、比較的白色系の光が多いわが国の都市照明において、光色の調和を保つために、人通りの多い時間帯は水銀ランプを点灯し、周囲のあかりが消えた深夜はランプ効率の高い高圧ナトリウムランプに切り替えれば、明るさを低下させずに、消費電力を40%も減らすことができます。

### モニターの声

- 豊かな日本で売れる商品。但し、国際的な省エネでどれだけ持つか？国際化でもう1つ。日本の照明が明るすぎる話に対応を…。
- ツインアーク 確かに便利そうだけど、何もそこまでやる必要もあるのかという気がします。
- なかなか良いコンセプト。機会があったら使ってみたい。 ○非常に興味ある製品である。
- 魅力的な製品だと思う。オープンモール等で使用してみたい。
- フットライトに使える低ワットのものが欲しい。
- 来街者は雰囲気を求め、ナトリウム、地元は色が変わるのがいやと言ひ、色が決まらない場合がある。判断に迷ったとき使えるかも。

# プレゼンテーション・懇親会



出展企業名	カネソウ株式会社
-------	----------

住 所	〒512 三重県三重郡朝日町大字繩生81番地
電 話	0593-77-3232
来場出席者名	石川文和、伊藤政明

## ● 評価ポイント

1. 商品（車止め）全体の開発コンセプト
2. デザインフォルム
3. 設定サイズ
4. カラーリング
5. 表面仕上げ（質感）
6. オプション部品の充実度
7. 車止めの使用場所のターゲット
8. 車止めの強度設定
9. 設定価格
10. 車止めの今後の方向性

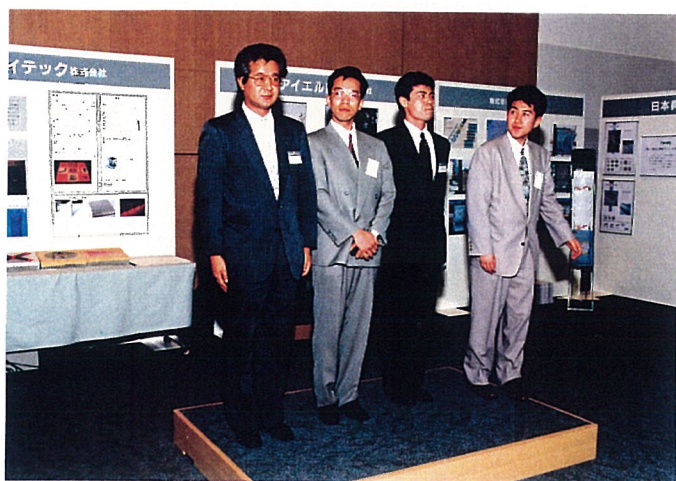
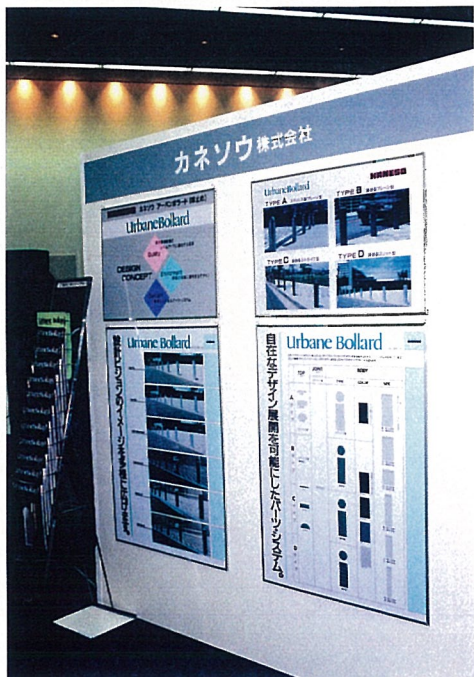
## ● プレゼンテーション要旨

現在、都市の空間は、その地域の持ち味を活かしながらさまざまな表情を創り出しています。これまで機能ばかりを追求し、無機質になりがちであった都市の空間は、よりヒューマンな親しみやすい空間に変わりつつあります。カネソウのアーバンボラードはそんな人間味のある都市景観の中で使用していただく車止めです。開発コンセプトとして一番目に、都市景観の中において周囲の環境にマッチするデザインとしました。公共の場所で使用される事の多い車止めはそのデザインはより社会性の強いものでなければなりません。そこで、できるだけシンプルなデザインを採用しました。二番目のコンセプトとして、都市環境整備のレベルアップに適應する「質」の高さを確保しました。使用素材は耐食性、耐摩耗性、強度等を考慮して選定、また、表面仕上もより質感を向上させるヘアライン仕上げあるいは焼付塗装を採用しました。三番目のコンセプトは、需要の多様化に應えるため、組み合わせによるシステム展開が可能な構造としました。車止めをそれぞれトップとボディに分離、トップを3デザイン3サイズ、ボディを4デザイン6サイズとし、それぞれを組み合わせることにより72種類の基本フォルムを設定。さらにオプション部品、カラーバリエーション等で多様化に対応します。以上3つの開発コンセプトを基に“ハイクオリティなスタンダード”をポジションとする車止め「アーバンボラード」です。

## モニターの声

- パーツ組合せシステムは評価できる。ボラード本体のデザインが今一つか。この部分をよりフリーにできないか。ストライプ内蔵型は？
- シンプル・イズ・ベスト。ずいぶん明解なデザインが多くなっていいと思います。
- 円形以外のシンプルな断面（正方形）もほしい。組合せが容易。
- 太いものも必要（←→交通量、道の巾員） ○鋳物らしさを表現してほしい。
- シンプルな形状はよいと思う。塗装のハクリ等がないように強力な被膜を！
- 車止めが車止めに終わらず、色々なものに使われることを考え、展開してほしい。ベンチ、柵（水際の）、灰皿、案内表示 etc.
- 視覚的には太いことは安心感があるが、実際に車を止める機能がないものを道路内にこんなに目立って『おく』ことには議論が必要と考える。

# プレゼンテーション・懇親会



出展企業名	東芝ライテック株式会社
-------	-------------

住 所	〒140 品川区東品川4-3-1
電 話	03-5479-3951
来場出席者名	亀井武人、松下 進

### ● 評価ポイント

- 1.
- 2.
- 3.

### ● プレゼンテーション要旨

#### 『LED埋込コンクリート製品』

全国各地で景観整備計画が進展するなか、ストリートファニチャーの美しいフォルムとマッチした演出性の高い機能照明に対するニーズが高まっています。

このニーズに応えるべく、全国エクステリアコンクリート協会と当社が、コンクリートに直接埋め込めるLEDを使用した装飾・サイン用光源とコントローラー、ならびにこれらを組み合わせた各種コンクリート製品を、照明業界にさきがけて共同開発しました。

その特色としては、全方向からの視認性を高めるなど機能性を向上させている点及び長時間メンテナンスフリーで使用できるよう耐久性を高めている点が挙げられます。発光色は赤・黄・緑・オレンジの4色で、コントローラーは施設の規模にあわせて選択できるよう、50灯用、150灯用、500灯用、10灯用太陽電池付、6灯用ソーラーユニットを標準化しています。

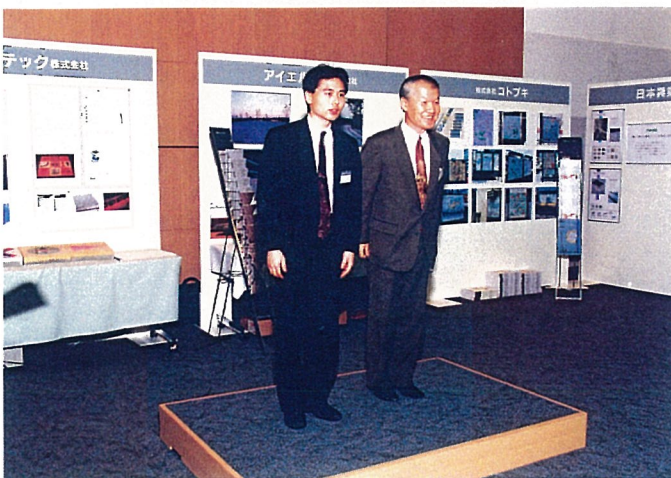
このLED埋込コンクリート製品は、歩道、車道の舗装材、ストリートファニチャー、車止め、ビルの壁面、境界ブロックなど、コンクリートの使われている所なら、ほとんど全て設置可能ですので、景観演出・誘導表示・装飾など多方面において、応用範囲は無限にあるといえます。

このように景観づくりの新しい光源としてのLED埋込コンクリート製品を今回出展いたします。具体的には、デザイン平板3枚及び境界ブロック2基、車止め1基程度を考えています。

### モニターの声

- ネオンサインが夜の街をきたなくする。それに類する、悪役にならない、使い方、色、寸法の工夫をしっかりと。
- 演出照明として使う時はもっと質の高いデザインをする。  
もっと都市の基本的な機能とつなぐことはできないか。  
色みのおだやかな光がほしい。
- 装飾過剰の都市装置にまたひとつヒカリモノが出てきたようで、困ったものです。
- 石や鋳鉄に自由に組み込めると良い。
- LED、警告等目的のために適切な配置は大いに好ましいが、不必要にハンランすると自家中毒をおこす。更に白・青等涼しげなものがほしい。
- 公共空間に必要な要素は多くない。交通安全などの必要性、または、市街地内の特定の場所で限定的に使うことが望ましい。

# プレゼンテーション・懇親会





出展企業名	大成建設株式会社
-------	----------

住 所	〒163-06 新宿区百人町3-25-1 サンケンビル
電 話	03-5386-7559
丸印出席者名	近藤正子、丸山 玄

## ● 評価ポイント

1. 今回展示した「子供たちのピクチャリング調査」のような都市環境のあり方を子供の目から見直すという手法について
2. これからの都市居住の方向性について
3. 今回の「都市・街路イメージ調査」のような既存都市の個性を活かす街づくりをするための都市特性把握手法について
4. これからの市街地再開発や建替に対する留意点について

## ● プレゼンテーション要旨

現在の都市は多くの問題点を抱えています。特に居住者にとっては、生活のうるおい、安全性などの面からますます住みにくくなり、夜間人口は減少の一途をたどっています。生活環境の悪化という点では、一日の大部分を都市で過ごすオフィスワーカーにとっても同様です。一方、街を訪れる人にも都市は複雑化し、わかりにくくなっています。古く愛着のあった建物が一夜にして取り壊され、見知らぬ新しいビルが建ち、日本中同じような街なみになる危惧さえ感じます。

このように都市には多くの人が集まり、それがまた都市の魅力になっている訳ですが、それら多様な視点からの潜在ニーズを把握する事が重要です。ここでは東京の中でも業務・商業・居住が混在する「新宿」をケーススタディに調査分析した結果を紹介します。

### 【子供たちのピクチャリング調査】

ファミリーが住めない街は減びると言われています。この調査では子供に焦点を当て、将来の都市・住まいについてどのように感じているかを調べました。未来の都市の主人公である子供たちが描いた絵から、現在の都市環境を見直すヒントを抽出しました。

### 【都市・街路イメージ調査】

「新宿」という都市と代表的な街路が居住者・就業者・来街者に与えるイメージを調査しました。都市・街路の特性を明確にする調査手法を提案すると共に、その結果を今後の街づくりの個性化、魅力づくりの手がかりとしました。

## モニターの声

- 面白い研究で、さすが“良い面”での大手ゼネコン。単なる描写・解析で終わらず、より掘下げた分析を期待する。
- 面白かった。具体的に提案、フィジカルなものを含めた計画にどう結び付くか、大興味。各界の専門家の知識、判断のコーディネートにも期待。
- ピクチャリング調査について、色彩の点についても言及していただき良かった。(ex)緑色が良く使われそれがよく見なれているから絵の中に用いられているのか。それともその色を望んでいるから描かれているのか、その辺の分析を11月の発表で見せていただきたいと思う。
- たいへん興味深くきかせていただきました。一つ疑問に思った点は、子供の絵を解釈するにあたり、かかっている絵が実際子供が触れる頻度が高いからかくとするのか、それとも志向希望するものとしてかかっていると解釈するのかということ。
- 子供の視点から都市を考える方法は興味がある。○都市デザインの欠陥が浮き上がって来ると面白い。
- 興味深い調査と思いますが、ゼネコンの作るものにつなげていくことは難しいように思います。特に大規模開発等について子供はNOを言っていると思います。

# プレゼンテーション・懇親会



出展企業名	株式会社日東建材工業
-------	------------

住 所	〒509-51 岐阜県土岐市泉北山町1-1
電 話	0572-55-5451
来場出席者名	水野光二、伊藤嘉明

### ● 評価ポイント

- 1.
- 2.
- 3.

### ● プレゼンテーション要旨

開発商品：40mm厚共通規格商品

日東はセラミックスの技術をベースに一貫して「うるおいのある街づくり」・美しい景観創造のために、商品開発を進めてきました。

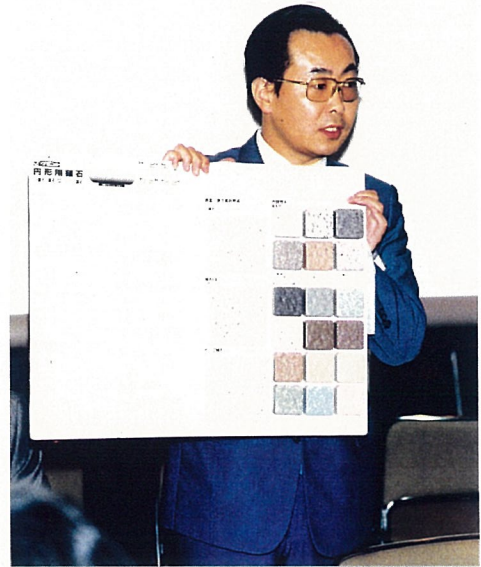
昨今の施工労働力、技術・職人不足から、従来のコンクリートをベースにモルタルで張るタイルの他に、敷く、置くだけの乾式施工できる商品を開発。簡単施工で、特別な技術は必要なく、短期に完了できるため、都市の交通低滞も軽減できます。すでに、乾式施工では、インターロッキング等のコンクリート製品がありますが、この素材の持つ、摩耗・風化・変色という問題を克服できる素材として、1300℃で焼成した完全磁器質商品のテクノストンを開発。天然御影石を原料にプレス成形・焼成されたもの。

40mm厚にして従来の60mm厚コンクリート製品以上の強度。又、表面は、ノンスリップ仕上げで安全歩行を確保。93年の商品規格として、更に、天然の御影石でも40mm厚敷石を開発。システムチックに組み合わせることが可能なモジュール形状で、テクノストンと、共に展開できるようにした。40mm厚により、60mm厚商品に比べ軽量で、作業効率も良く、施工スピードもアップ、㎡あたりの運搬費も低減できます。現状、60、80mm厚の乾式施工商品が多いが、最近の流れでは、40mm厚商品もでてきています。（日本、ヨーロッパ）私達は、更に研究・開発を行い、形状、色のバリエーション、強度を高め長期に渡り、美しい景観を形成する商品を提供します。

### ＝ モニターの声 ＝

- スケール感の統一、施工する場の理解等、製品のデザイン力の飛躍に期待する余地大。
- 自社のポリシーにもとづいて、しっかりした商品をつくってほしい。中途半端な（コンセプトが弱い）ものになってきている。
- 材質のグレードの巾広い製品ラインナップを望む。
- 都市景観におけるベースになる素材であるため色彩はベーシックな色の範囲で種類がある方がよい。
- ニュートラルと色つきで構成されているか。色ものの彩度が高い。少し暗く色みの少ないものがほしい。
- 色は多くは必要ない、変なもようはいらない。

# プレゼンテーション・懇親会



出展企業名	日本興業株式会社
-------	----------

住 所	〒760 高松市上福岡721-2
電 話	0878-31-2828
ルビ出席者名	三輪武志、芹澤美保子、馬場和彦、丸山浩司

### ● 評価ポイント

- 1.
- 2.
- 3.

### ● プレゼンテーション要旨

日本興業は、「美しく豊かな環境づくり」をテーマに、環境のための道具を提案しています。コンクリート素材の特性をいかし、耐久性、安全性、施工性、メンテナンス性など、あらゆる面から検証し、その成形法によるすぐれた造形性、テクスチャー、豊富なカラーバリエーションによって、多くのデザインワークに対応出来る製品づくりを目指しています。

今回の提案は、景観の実情として問題となっている“景観上に多くのストリートファニチャーや部材が集合した状態は、全体として無秩序で雑然となりがちである”という事に対するものです。

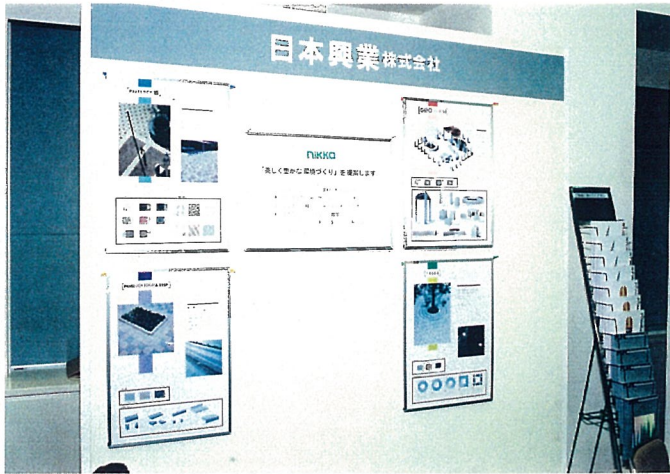
日本興業では、目的や機能の異なるさまざまな製品に対して、テクスチャー、カラーリング、ディテールをシステム化し、整合させる事によって、全体としての基調をつくり、街なみ景観の向上を図ることを目指します。又、ペイジメントと寸法モジュールを出来るだけ合わせる事により、ものとものおさまりをすっきりとさせる事が出来、施工上でのメリットをも引きだす事が出来ると考えます。

素材の整合により、エイジングに対しても自然な印象を与える事が出来るでしょう。このように、部材の整合により、景観に従属出来る商品づくりを日本興業は、提案します。

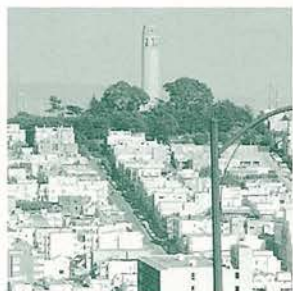
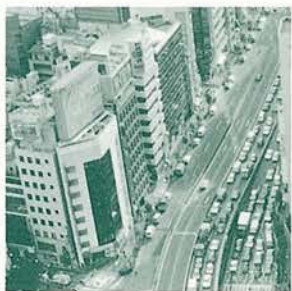
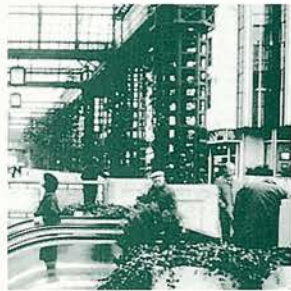
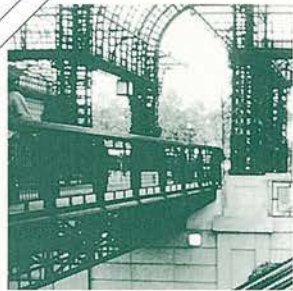
### ＝ モニターの声 ＝

- 供給する商品の位置づけを、確実に商品開発の筋として通し、バックボーンとして下さい。いい商品ができると思います。
- CINQ & Miniは特色があってよいのではないか。  
デザイン面は評価するが、性能面はどうか。耐力、施工、維持補修。
- 舗装材の色は自然的な色、おちついた色で味わいがあるがよい。
- おだやかな色、シュットブラストは、自然な感じでよい。  
ストリートファニチャーの独立性が強すぎる。
- 日々新しく、良くなっていると思います。
- 目地の空き方が不自然。
- 顔料なしの発色が原因と分り、有益であった。さらに色は若干のバラ付きが出れば良いのでは？

# プレゼンテーション・懇親会



# '93都市環境デザインモニターメッセ



都市環境デザイン会議

# 「都市環境デザイン モニターメッセ」 開催概要

1993年

## 都市環境デザイン

## モニターメッセ

### 開催にあたって

「都市環境デザイン会議」は、都市の環境をより良いものとするために、分野の違いを越えて積極的にこれに関与して行きたいと考える人たちの集まりです。土木・建築・造園・デザイン・照明など多岐にわたる分野・学会・行政・コンサルタント・設計事務所など多くの立場の人々の参加を得て、全国の活動組織として定着しつつあることは、ひとえに皆様方のご理解、ご支援、ご努力によるものと深く感謝を申し上げる次第です。

「都市環境デザイン会議」では、都市環境デザインに深い関心のある人々のネットワークの構築、都市環境デザインの高度化、情報交換などについての活動を活発に行なっています。昨年度開催いたしました「都市環境デザインモニター・プレメッセ」では、都市環境デザインに関する社会的な情報発信の場として、参加されたモニター諸氏ならびに出展企業の皆様から高い評価をいただきました。

本年度も、会議のメンバーらが自ら社会的、専門的なモニターとなり、都市環境の開発、素材の供給、技術の開発などに関与される産業界の方々のご協力を得て、双方向型の情報交換の場「都市環境デザインモニターメッセ」を開催いたします。需要側の声、供給側の事情の情報交換を活発に行なう機会として、本メッセが良好な都市環境の形成に役立つことを願ってやみません。

より豊かな都市の時代に向けての、本活動の主旨にご理解をいただき、積極的なご支援ご協力をお願いする次第です。

都市環境デザイン会議

### ■開催の主旨

都市環境の形成にかかわる発注者、計画者、設計者、デザイナーらがモニター席に並び、これに対し都市環境の開発事例、素材開発、技術開発などについて企業側にプレゼンテーションをしていただきます。

その後、持ち時間に従って意見交換を行ないます。とりあえず、試行錯誤のための小規模なメッセから発足したいと考えますが、発展の要件を探りつつ、ゆくゆくは広範かつ大規模なもの、また一般の方々の参加を求めるものなどへの拡大をはかってゆくことをめざします。

### ■開催概要

名 称：'93都市環境デザインモニターメッセ

会 場：東京・品川天王洲アイル地区宇部興産ビル  
UBEホール  
東京都品川区東品川2-3-11

開催日時：1993年7月23日(金)  
13:30~18:00(モニターメッセ)  
18:00~20:00(懇親会)

主 催：都市環境デザイン会議  
〒150 東京都渋谷区広尾1-10-4  
TEL.03-3420-5995

運 営：都市環境デザインメッセ運営事務局  
(感覚都市研究所内)  
TEL.03-3444-6680 FAX.03-3444-6878

モニター：都市環境デザイン会議メンバー(関係省庁・自治体  
大学教授・建設系(都市計画・木土造園)コンサルタント  
・建築設計事務所・各種デザイナー・ゼネコン・  
造園業・資材メーカー等)

出展予定業種：ゼネコン、景観材料メーカー、ディベロッパー等



# モニターおよび展示コーナー出展要項

## ■モニター会のご案内

モニター会は、モニター会場(展示コーナーを併設)にて行ないます。モニター出席者は、省庁・自治体の都市計画や環境デザイン担当者、都市環境関係の大学等の教育者、環境デザインにかかわるコンサルタント、設計者、フリーのデザイナーなどの構成です。モニター会の進行は司会者が進めますが、あらかじめモニターに対する質問事項(評価のポイント)などを10項目用意していただきます。

発表内容は、都市環境の開発事例、都市環境要素の製品、デザインシステムの提示など自由ですが、なるべく主旨、目的、売り込みたいポイントなど絞って明瞭にしてください。

### モニター会は

- ・テーマやジャンルによるゾーンを2～3設け、分散して開催します。
- ・出展された企業の発表時間はおよそ10分です。
- ・モニターはあらかじめ用意された質問事項にそった意見交換と発表による新たなディスカッションを加え約10分を想定しています。

## ■協賛料金

協賛料金は、300,000円/1コーナーとなっております。なお、写真パネル製作・展示台・映像機器等が必要な場合は、別途料金が必要で

## ■展示コーナーの説明

### ①展示用パネル

W2,000×H2,250(パネル自立用スタンドを使用)

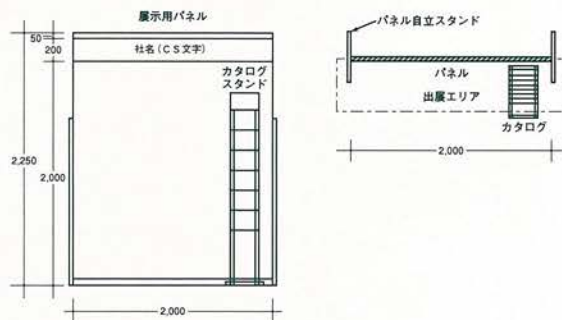
- ・上部 200mm巾は表具貼り分け、CS文字にて社名表示
- ・下部 2,000mmHが写真パネル等のスペースとなります(表具・加工紙仕上げ)

### ②カタログスタンド

W250×D550×H1,700 ・A4縦型 12段×1列  
(その他希望により、B4縦型 12段×1列もあります)

### ③出展エリア

W2,000×D600のスペース以内とします。



### ④その他

- ・展示台等をご希望の際は、出展エリア範囲内にて別途見積の上承ります。

- 例・B2サイズ(縦型、ネガご支給) ドライマウント・アルミフレーム付き 文字なし @¥40,000
- ・750×750mmサイズ(特注サイズ、ネガご支給) 上記仕様 @¥47,000
- ・照明 会場設営の制約により、特別に照明工事は致しません。

## ■モニター会場 開催のスケジュール

	5 月		6 月		7 月		
	20		10	20	10	20	23 日
出展のご案内	出展のご案内にうかがいます。						
出展お申し込み	出展の申込を受け付けています。						
展示パネル等の制作 (お手伝いいたします)	展示パネル等の制作を受け付けています。 ※展示台やプレゼンテーションの支援装置については、6月30日までにお申し込みください。						
会場設営	7月10日よりパネル・パンフレット等事務局にてお預かりいたします。						
会場撤去	パネル等を7月23日以降、ご要望により郵送いたします。						

設置

撤去

# 1992年「環境デザインモニター・プレメッセ」 開催報告

'92都市環境デザインモニターメッセは、本年度のプレとして開催され、はじめての試みであるにもかかわらず活発な意見の交換が行なわれ、満足のゆく効果をあげました。

## 開催概要

- 名称：'92都市環境デザイン・プレメッセ  
会期：1992年5月23日（土）11:00～16:30  
17:00より懇親会  
会場：東海クラブ  
東京都千代田区霞が関3-2-5  
主催者：都市環境デザイン会議  
運営：同上  
事務局：都市環境デザインモニター・プレメッセ事務局  
（財）経済調査会内  
モニター：都市環境デザイン会議メンバー  
出展企業：川崎製鉄株・川崎機材工業株、株クボタ、株神戸製鋼所、住友軽金属工業株、積水樹脂株、大成建設株、株竹中工務店、東京ガス株、東芝ライテック株  
計10社

## 実施概要

「'92都市環境デザイン・プレメッセ」は、都市環境デザイン会議の主催により、1992年5月23日（土）午前11時45分から、都市環境デザイン会議（略称JUDI）会員約90名のモニターによって、東海大学校友会館朝日の間で開催した。参加企業は10社。川崎製鉄株・川崎機材工業株、株クボタ、株神戸製鋼所、住友軽金属工業株、積水樹脂株、大成建設株、株竹中工務店、東京ガス株、東芝ライテック株の各代表が、自社製品及び都市デザインの実績を説明し、それらにモニター側が質問、プレゼン者が応答するという形で進められました。1社あたりの持ち時間は少なかったものの、かえって説明を簡略化され、内容を凝縮しているだけあって、初めての試みであるにもかかわらず、活発な発言の間に幕を閉じました。メッセ終了後は望星の間に場所を移し、参加企業、JUDI会員、そして関係者約100名が集い、懇親会が行なわれました。会場では、モニター・プレメッセの延長のように、小さなグループを作りながら、活発な議論を繰り広げている光景も見受けられ、盛り上がりの中に、午後7時に予定どおり全ての行事は終了しました。



出展企業のプレゼンテーション



熱心に議論するモニター諸氏



展示物に見入るモニター諸氏



スライドに質問する  
モニター諸氏



# 都市環境デザイン会議事業案内

「都市環境デザイン会議」の設立主旨は次の通りです。

経済大国としての地位を築きつつある我が国は、社会的な環境の豊かさにおいては未だに未熟な面を抱えています。都市の環境の豊かさを築いてゆくためには、私的な空間の充足ばかりでなく、公的あるいは、半公的な空間の豊かさを築いてゆかなければなりません。そのためには、個別の施設設計の寄せ集めという現在の環境のでき方のあり方を改善してゆく必要があります。このような目的を達成するために行うべきことは公共、民間双方に多々ありますが、まず少なくとも、総合的な環境設計の観点から行うべきことが多くあるとの認識を共通に持つ多くの自治体関係者や、関連分野のプランナーやデザイナーが集まり、よりよい都市環境を創る新たな社会システムを構築していくための運動を幅広く行っていくことが大切だと考えられます。

このため、「都市環境デザイン会議」は、横のつながり、縦のつながりを重視した“良好な都市空間の創造に積極的に関与する人々”の組織化を目指しています。

「都市環境デザイン会議」の構成員は、次の様な人々で多彩なものとしています。

1. デザイナー、コンサルタント等  
アーバンデザイナー、都市計画コンサルタント、土木設計家、建築家、造園計画コンサルタント及びデザイナー、インダストリアルデザイナー、照明デザイナー、芸術家、商業施設デザイナー及びコンサルタント
2. 関連分野の専門家  
法律、心理学、文学、歴史、地理学、生態学など、出版、報道
3. 研究・教育界  
大学等教育者、研究機関スタッフ
4. 公共団体職員等  
国家公務員、地方公務員、特殊法人等の公的団体職員等

## 「1992年度／都市環境デザイン会議：幹事一覧」

	氏 名	所 属
代表幹事	大塚 守康	(株)ヘッス
	加藤 源	(株)日本都市総合研究所
	窪田 陽一	埼玉大学工学部建設工学科
	菅 孝 能	(株)山手総合計画研究所
	高橋 志保彦	高橋志保彦設計事務所
	近田 玲子	近田玲子デザイン事務所
	中野 恒明	(株)アブル総合計画事務所
	鳴海 邦碩	大阪大学工学部環境工学科
	南條 道昌	(株)都市計画設計研究所
	林 英 光	愛知県立芸術大学
監査役	佐野 寛	東京学芸大学／モス・アドバタイジング
	西沢 健	G K 設計

	氏 名	所 属
ブロック 幹事	矢島 健	(株)プランニングワークショップ
	山崎 洋二	(株)都市デザイン
	水野 一郎	金沢工業大学
	岡村 勝司	信州大学工学部建築工学科
	天野 光一	日本大学理工学部交通土木科
	伊藤 洋	(株)都市環境計画研究所
	成瀬 恵宏	(株)都市計画工房
	森 延 彦	静岡県都市住宅部都市住宅企画課
	井口 勝文	(株)竹中工務店開発計画本部
	寺本 和雄	(株)寺本建築都市研究所
	大谷 英人	(株)若竹まちづくり研究所
	岡 道 也	九州芸術工科大学環境設計学科

## '93都市環境デザインモニターメッセ・会場案内図



### 交通のご案内

#### ◆東京モノレールをご利用の場合◆

浜松町より東京モノレールで「天王洲アイル駅」下車、所要時間約5分

#### ◆都バスをご利用の場合◆

JR品川駅(港南口)より「天王洲アイル循環」バスで天王洲アイル下車、所要時間約5分

#### ◆お車をご利用の場合◆

首都高速横羽線芝浦ランプもしくは、湾岸線大井ランプが便利です。

#### ◆タクシーをご利用の場合◆

JR品川駅(港南口)より、所要時間約5分

### 都市環境デザイン会議

'93都市環境デザインモニターメッセ運営事務局  
(感覚都市研究所内)

〒108 東京都港区白金1-29-9-801 TEL.03-3444-6680 FAX.03-3444-6878